

佐賀県立九州陶磁文化館
令和 4 年度年報・資料目録No.42

Annual Report &
Collection List No.42
Kyushu Ceramic Museum
2022.4 ~ 2023.3

は　じ　め　に

このたび、令和4年度の事業概要をまとめました。

当館では、昭和55年（1980年）の開館以来となる常設展示のリニューアルに取り組み、令和4年（2022年）4月に常設展示「有田焼の歴史」としてオープンしました。ここでは、有田焼の名品をデジタル映像や展示空間と組み合わせて紹介し、歴史や文化などテーマごとの部屋を巡りながら多彩なストーリーで有田焼の魅力を発信しています。来館された方からは、映像や空間演出でわかりやすい、有田焼の美しさを体感できたといった声が寄せられています。

令和4年度は、リニューアル記念「海を渡った古伊万里～ウィーン・ロースドルフ城の悲劇～」、日本工芸会陶芸部会50周年記念「未来へつなぐ陶芸―伝統工芸のチカラ」の2つの特別企画展を開催し、多くのお客様に御好評を頂きました。

また、「有田国際陶磁展」など当館以外が主催する5つの展覧会も開かれ、陶芸文化の向上に貢献しました。

さらに、タイのバンコク国立博物館で開催された展覧会「日本とタイの陶磁器交流―貿易と文化交流の永遠の伝説」では、当館の所蔵品の貸出しや記念講演などを行い、肥前陶磁の海外との交流や歴史文化を紹介しました。

この他、全国各地から依頼された調査研究活動などへの協力にも対応いたしました。

これまで以上に多くの皆様に御利用いただけるよう職員一同努力を重ね、各種事業について今後も一層の充実を務めてまいりますので、引き続き関係各位の御指導と御協力をお願い申し上げます。

佐賀県立九州陶磁文化館

館長 鈴田 由紀夫

はじめに	1
目次	2
館の概要	
設立の目的・活動の目的	3
沿革	4
施設・設備の概要	5
組織・職員・協議会委員・資料専門委員	8
佐賀県立博物館施設資料購入指針	10
佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程	11
佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領	14
事業日誌	15
展示活動	
1. 常設展 九州の陶磁	16
2. 企画展・テーマ展など	22
3. 海外展協力	32
4. 利用状況	33
館蔵資料等の貸出・閲覧・撮影など	34
教育普及活動	
1. 展示案内	35
2. イベント・行事など	36
3. 印刷物等の刊行	39
4. 博物館実習	40
5. 講演など	40
調査研究活動	
1. 調査	41
2. 調査協力・広報・研修など	41
3. 依頼資料調査	41
資料収集活動	
1. 陶磁資料の収集	42
2. 図書資料の収集	42
佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 令和4年度	43

館の概要

設立の目的

佐賀県立九州陶磁文化館は、肥前陶磁をはじめ、各地域において独自の伝統を継承発展させてきた九州の陶磁器に関し、その文化遺産の保存と陶芸文化の発展に寄与する目的で設立されました。

そのため、歴史的、美術的、産業的にみて重要な資料を収集・保存・展示し、あわせて調査研究や教育普及活動を行っています。当館は、九州の陶芸文化に関する総合的施設の位置にあるばかりでなく、国際的にも注目される存在となることをめざしています。

活動の目的

・展示活動

4つの展示室からなる常設展 九州の陶磁は、有田焼や九州の陶磁器の歴史と特色が順を追って把握できるように構成されています。第1展示室（有田焼の歴史）から始まり、第2展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）、さらに第4展示室（現代の九州陶芸）と続いています。

有田焼の歴史や文化を有田焼の名品とデジタル映像や展示空間で楽しむことができる第1展示室、江戸時代の有田磁器約千点を展示する柴田夫妻コレクションの第2展示室、九州各地の古陶磁を鑑賞する第3展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第4展示室というそれぞれの特色があります。

館の展示内容を外国人にもわかりやすいものに磨きあげ、有田焼をはじめとする本県が誇るやきもの文化の魅力や価値を国内外に発信することを目的に第1展示室のリニューアルを行い、令和4年（2022年）4月9日にリニューアルオープンしました。

・収集活動

国の内外を問わず、九州の陶磁に関して、体系的に資料（陶磁器・出土資料・古文書・古記録等）の調査収集を行っています。また、資料の充実を図るため、購入や寄贈の受入等にも努めています。

・調査研究活動

九州の陶芸や陶磁産業を歴史的・総合的に明らかにするために、考古学・美術工芸史など様々な分野にわたる資料・文献の調査収集に努めています。また、学術講演会や国内外の機関との交流を通じて研究の進展を図っています。

・教育普及活動

展示案内等を行うことにより陶芸文化に対する理解を深め、さらに陶芸実習室を創作活動の場として提供するなど、広く陶芸文化に関する普及活動を行っています。



沿 革

昭和 48 (1973) . 1. 8	有田町長他、国際陶芸美術館建設について陳情
昭和 51 (1976) . 4	陶芸文化施設調査費を計上
52 (1977) . 4	陶芸文化施設調査費を計上
52 (1977) . 6	佐賀陶芸文化センター（仮称）建設計画案を作成
52 (1977) . 11	基本設計委託をアルセッド建築研究所と契約
52 (1977) . 11. 24	第 1 回佐賀県陶芸文化センター建設委員会開催
52 (1977) . 12. 8	佐賀県陶芸文化センター建設促進協力会設立（会長 鍋島直紹）
53 (1978) . 2. 28	基本設計完了
53 (1978) . 3. 29	建設費関係予算決定（約 19 億円）
53 (1978) . 4. 1	専任職員 3 名を配置
53 (1978) . 11. 15	建設工事入札
53 (1978) . 12. 20	設備工事入札
53 (1978) . 12. 27	用地譲渡契約締結（有田町より無償譲渡）
54 (1979) . 1. 16	起工式
54 (1979) . 5. 11	正式名称打合会（「西日本陶磁文化館」の案）
54 (1979) . 7. 6	正式名称「佐賀県立九州陶磁文化館」と決定
54 (1979) . 10. 3	外構・植栽工事入札
55 (1980) . 3. 25	佐賀県立九州陶磁文化館竣工（建設工事費：1,745,100 千円）
55 (1980) . 3. 27	佐賀県立九州陶磁文化館条例・同管理規則等を公布
55 (1980) . 11. 1	開館
平成 元 (1989) . 6. 12	染付鷲文三足大皿が重要文化財に指定
5 (1993) . 3. 25	柴田夫妻コレクション展示室完成
5 (1993) . 4. 29	柴田夫妻コレクション展示室が常設展の一室として開室
6 (1994) . 4. 1	旧窯業技術センター跡地(12,011.00 m ²)を当館敷地として所管換
12 (2000) . 2. 22	玄関自動ドア設置
12 (2000) . 12. 4	染付山水文輪花大皿が重要文化財に指定
12 (2000) . 12. 28	有田焼からくり時計設置
14 (2002) . 3. 20	来館者用トイレ改修・増設
18 (2006) . 3. 31	有田磁器（柴田夫妻コレクション）10,311 点が国登録有形文化財（美術工芸品）に登録
26 (2014) . 3. 31	防犯カメラ改修・新設
27 (2015) . 3. 16	身障者駐車場屋根設置
27 (2015) . 3. 16	収蔵庫棚新設
27 (2015) . 3. 20	館内 Wi-Fi 環境整備
30 (2018) . 10. 4	来館者用トイレ改修(洋式化等)
31 (2019) . 1. 21	非常用発電機更新
31 (2019) . 3. 27	大韓民国国立光州博物館との学術交流協定締結
令和 2 (2020) . 11. 1	開館 40 周年
3 (2021) . 3. 19	荷物用エレベーター（1 号機）及び乗用エレベーター（2 号機）更新
4 (2022) . 3. 28	グローバル化推進事業（常設展示リニューアル等）
4 (2022) . 4. 9	常設展示（有田焼の歴史）等を更新し、リニューアルオープン

施設・設備の概要

所在地	佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100－ 1
設計管理	内田祥哉＋アルセッド建築研究所
施工業者	(1) 建築・外構…住友建設・松尾建設共同企業体 (2) 設備工事・電気設備…新生電業・宮園電気共同企業体 (3) 空調設備…丸紅設備・昭栄設備工業共同企業体 (4) 給排水設備…葉隠設備工業（株） (5) 植栽…中村永楽造園土木（株）
工期	昭和 54 年（1979 年） 1 月 16 日～昭和 55 年（1980 年） 3 月 25 日
規模	(1) 敷地面積：43,619.59 m ² (2) 建築面積： 3,831.93 m ² (3) 延床面積： 6,526.54 m ² (4) 構 造：鉄筋コンクリート造地上 2 階、一部 3 階建
主要設備	(1) 電気設備 設備容量：350 KVA（6,600V 受電） 発電機：125 KVA（220V） (2) 空調設備 冷 暖 房：吸収冷温水機（能力 544,320.0 kcal/h）平成 6 年施工 そ の 他：防排煙連動操作設備（防火シャッター、排煙ファン）等 (3) 給排水設備 給水設備：町水道使用、受入槽 30t（15t 2 基） 排水設備：町公共下水道 消火設備：屋内消火槽、ハロンガス消火設備等 そ の 他：給湯設備、身障者便所等

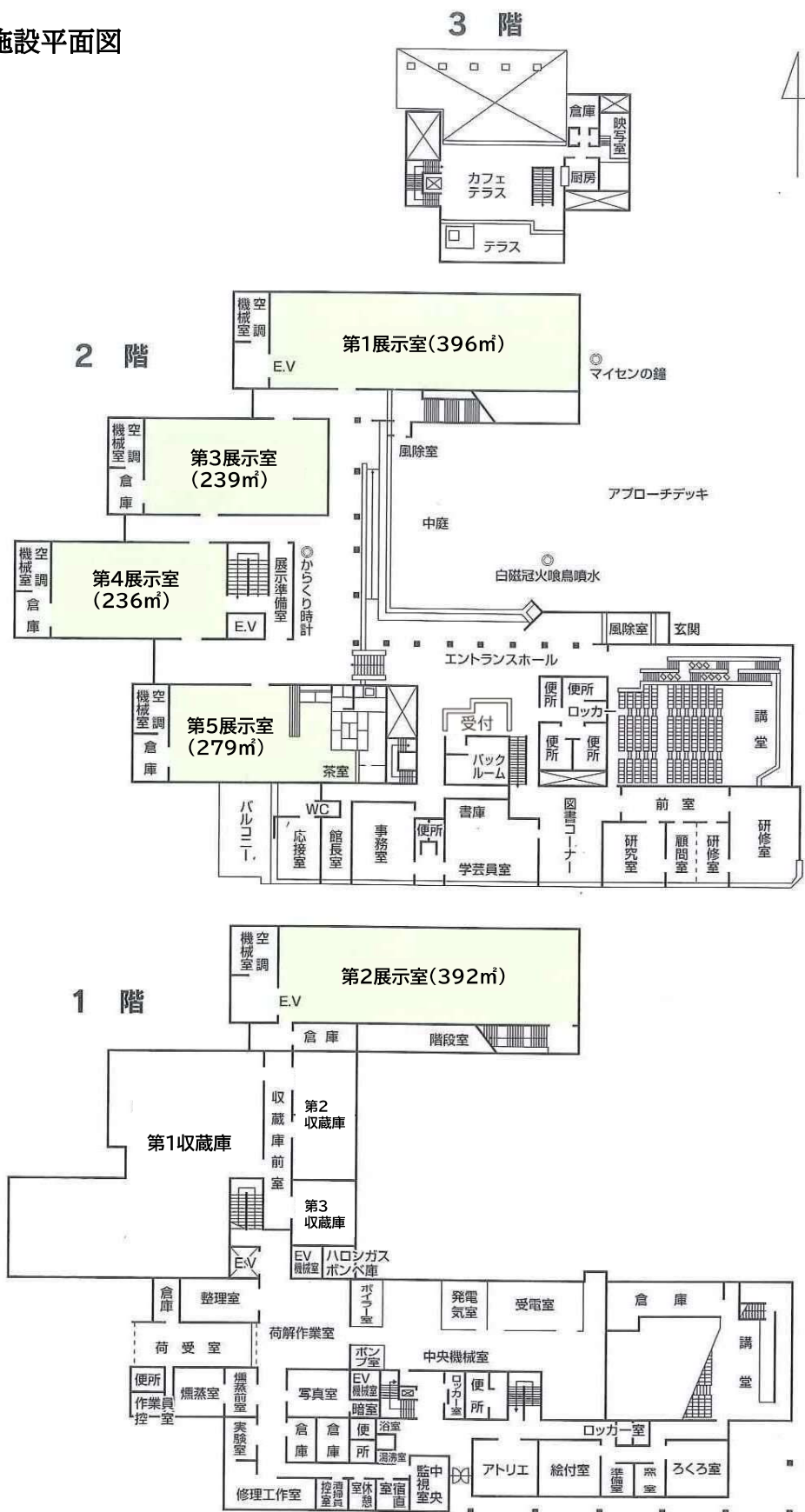
〔単位：m²〕

部 門	室 名	室数	面 積
展示施設	第 1 展 示 室	1	396.26
	第 2 展 示 室	1	392.13
	第 3 展 示 室	1	239.54
	第 4 展 示 室	1	236.95
	第 5 展 示 室	1	279.56
	展示準備室・倉庫	1	169.70
	小 計		1,714.14
収蔵施設	第 1 収 蔵 庫	1	532.68
	第 2 収 蔵 庫	1	105.50
	第 3 収 蔵 庫	1	52.44
	そ の 他	1	553.80
	小 計		1,244.42
研修施設	講堂	1	385.49
	陶芸実習室	4	122.38
	一般研修室	2	203.76
	図書コーナー	1	102.49
	その他		154.85
	小 計		968.97

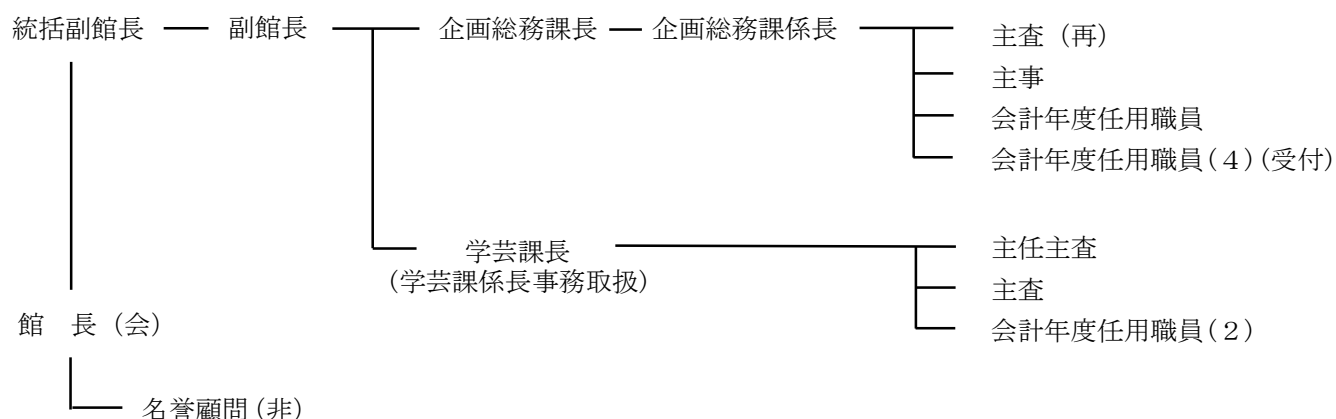
部 門	室 名	室数	面 積
研究施設	研 究 室	1	54.58
	実 験 室	1	19.21
	そ の 他	1	56.05
	小 計		129.84
管理施設	機 械 室		355.69
	事 務 室 等		553.99
	小 計		909.68
共通施設	展 示 ホ ー ル		406.73
	エントランスホール		284.15
	そ の 他		868.61
	小 計		1,559.49
	合 計		6,526.54

施設

施設平面図



組 織



※(非)は非常勤職員。(再)は再任用職員。(会)は会計年度任用職員。

職 員

職 名	氏 名	事 務 分 掌
館長	鈴田 由紀夫	館の代表
名誉顧問	大橋 康二	館運営の専門的見地からの助言
統括副館長	加藤 英治	館の総括
副館長	徳永 貞紹	統括副館長の補佐
企画総務課長	田中 晋一	課の総括
企画総務課係長	福田 直美	係の総括、企画・広報、予算・決算、特別企画展等関連イベント
主査(再)	久保田 正久	広報、予算執行(報酬・賃金、需用費、備品等)、施設・財産管理(使用許可、植栽管理、備品)
主事	野田 有佐	予算執行(庁舎維持管理等)、収入、職員給与、旅費、施設・財産管理(使用許可、植栽管理、備品を除く)
会計年度任用職員	前田 千賀	普及啓発事務、図録グッズ販売管理、予算執行(共通経費、費用弁償等)
会計年度任用職員	空閑 真弓	受付事務・入館者統計、図録等の在庫集計等
会計年度任用職員	大曲 身江子	〃
会計年度任用職員	仲出川 愛	〃
会計年度任用職員	朝長 幸子	〃
学芸課長	藤原 友子	課の総括、資料調査・研究・収集・管理・普及・展示(特別企画展等)
主任主査	山本 文子	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示(特別企画展等)
主査	宮木 貴史	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示(特別企画展等)
会計年度任用職員(英語対応)	山口 由佳	外国人来館者への展示案内、展示説明等の英語表記、SNSによる海外への情報発信等
会計年度任用職員(学芸員)	前田 小百合	館内・展示案内業務、学芸課業務補助、図書の整理・管理等

令和5年(2023年)3月31日現在

協議会委員（任期：令和3年（2021年）6月23日～令和5年（2023年）6月22日）

氏 名	役 職 名
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長、佐賀県陶芸協会会長
古賀 真理子	佐賀新聞記者
小林 知美	筑紫女学園大学准教授
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会会長
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長
野田 勝人	佐賀県議会議員
馬場 加代子	表千家同門会佐賀県支部幹事
深江 孝子	有田観光協会観光ガイド(公募委員)
深川 祐次	有田商工会議所会頭
松尾 佳昭	有田町長
村上 伸之	有田町歴史民俗資料館館長
藤村 真理子	有田中学校教諭
古川 朋子	有田町婦人会会員
横尾 小百合	西有田中学校PTA母親委員長

令和5年（2023年）3月31日現在

資料専門委員（任期：令和3年（2021年）9月1日～令和5年（2023年）8月31日）

氏 名	役 職 名
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会会長
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長
福原 透	元 八代市立博物館未来の森ミュージアム副館長

令和5年（2023年）3月31日現在

佐賀県立博物館施設資料購入指針

(趣旨)

第1条 この指針は、規則その他規程に定めがあるものを除き、佐賀県立博物館・美術館、佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館（以下「各館」という。）の資料購入を行うための、必要な事項を定めるものとする。

(資料収集調整委員会)

第2条 各館の購入資料は、すべて別途定める「佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「委員会」という。）」において、選定するものとする。

(資料購入費の配分)

第3条 委員会事務局は、各館の購入実績等を踏まえ、事前に資料購入費の一応の目安額となる配分額を示すものとし、その調整は委員会において行うこととする。

2 購入資料の選定後、文化課は各館からの申請により資料購入費を再配当する。

(購入予定資料の評価)

第4条 委員会で選定した購入資料のうち、一件の購入予定価格が400万円以上のものについては、当該資料と直接利害関係を有しない複数の学識経験者等に意見を求めるものとする。また、購入予定価格の如何を問わず、評価が困難なものについても同様の取扱とし、適正な評価に努めなければならない。

(購入の取りやめ)

第5条 前条の評価の結果、購入が適当でない場合や市場の変化等により購入が不可能となった場合の購入とりやめの判断は各館の館長が行うものとする。なお、その際は委員会事務局へ速やかに報告することとする。

(資料の購入先)

第6条 資料購入先は、同一業者に偏向しないように配慮する。なお、原則として、年に1,000万円以上の取引が過去3ヶ年以上継続した業者からの購入は1年間見合わせる。

附則

(適用期日)

1 この指針は、平成24年5月9日から適用する。

(趣旨)

第1条 この規程は、佐賀県立九州陶磁文化館（以下「陶磁文化館」という。）が陶磁文化館資料（佐賀県財務規則（平成4年佐賀県規則第35号。以下「財務規則」という。）第143条第2項の規定による物品分類表中博物館資料に分類される物品をいい、以下「資料」という。）の購入、寄贈、寄託、一時預り、貸出し、公開等を行う場合における資料の管理・保管の方法について、財務規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

(資料の分類)

第2条 資料の分類は、別表1の分類により整理するものとする。

(資料の購入)

第3条 陶磁文化館で購入する資料は、すべて佐賀県立九州陶磁文化館資料専門委員会（以下「資料専門委員会」という。）で選定し、佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「調整委員会」という。）において決定するものとする。

2 陶磁文化館の常勤の館長又は統括副館長（以下「常勤館長等」という。）は、調整委員会で購入を決定した資料のうち1件あたりの購入予定額が400万円以上のものについては、専門委員会の委員から評価調書（別記様式第1号）により意見を求めるものとする。また、資料価値の算定が困難な資料については、購入予定額の如何にかかわらず、必要に応じて学識経験者等から意見を求め、適正な評価に努めなければならない。

3 常勤館長等は、前項の規定による評価の結果により購入を取り止めようとする場合又は購入が不可能と判断した場合は、不購入の決定を行うものとする。この場合は、調整委員会へ速やかにその旨を報告するものとする。

(資料の寄贈)

第4条 陶磁文化館に資料を寄贈しようとする者は、資料寄贈申込書（別記様式第2号）により申し込まなければならない。

2 常勤館長等は、前項の規定により申込みのあった資料について必要に応じて資料専門委員会に諮るなどの措置を講じ、陶磁文化館で所蔵することが適当と認めるものについては、寄贈資料受納調書（別記様式第3号）を作成し、受納を決定するものとする。この場合において、1件あたりの時価見積額が400万円以上の資料については、資料専門委員会の委員等による選定・評価を受けなければならない。

3 前項の規定により受納を決定した場合は、寄贈者に対し寄贈資料受納書（別記様式第4号）を送付するものとする。

(資料の寄託及び一時預り等)

第5条 陶磁文化館に資料を寄託（1年以上の期限を定めた寄託に限る。）しようとする者は、資料寄託申込書（別記様式第5号）により申し込まなければならない。

2 陶磁文化館が資料の寄託又は出品を所有者に依頼するときは、資料寄託・出品承諾書（別記様式第6号）又はこれに準ずる承諾書により所有者の承諾を得なければならない。

3 寄託の申し込みのあった資料で常勤館長等が認めたもの又は寄託の承諾を得た資料については、寄託資料受入調書（別記様式第7号）を作成し、受入れを決定するものとする。

- 4 前項の規定により寄託の受入れを決定したときは、資料寄託契約書（別記様式第8号）により契約を締結した後、寄託資料台帳（別記様式第9号）にその旨を登載するものとする。
- 5 展覧会への出品及び研究等のため短期間資料を預かるときは、出品者又は所有者に対し、資料一時預り証（別記様式第10号）を発行するとともに、一時預り資料台帳（別記様式第11号）にその旨を登載するものとする。ただし、企画展のための一時預りについてはこの限りではない。
- 6 埋蔵文化財（出土品）等所有権が確認できない資料について、現にその資料を管理している者から寄託及び出品の申し込みがあった場合又は同人に依頼する場合の手続については、当該管理している者を所有者とみなして前各項の規定を適用する。
- 7 佐賀県出土の埋蔵文化財のうち、国の保有する重要文化財等を1年以上継続して借用する場合は、第4項及び第5項の規定にかかわらず、国保有重要文化財等借用台帳（別記様式第12号）にその旨を登載する。

（資料の整理）

- 第6条 第3条及び第4条の規定により受け入れた資料は、当該資料一件ごとに資料カード（別記様式第13号）を作成し、整理しなければならない。
- 2 前項の資料には、資料ラベル（別記様式第14号）を貼付し、又は紐付けをして整理しなければならない。ただし、貼付し、又は紐付けすることが困難なときは、マーキングを施す等の適当な方法により整理するものとする。
 - 3 前条第4項に規定する寄託資料及び前条第7項の国保有重要文化財等については、前2項の規定を適用する。この場合において、前2項に規定する様式については、すべて赤枠で表示し区別するものとする。

（資料の貸出し）

- 第7条 資料の貸出しは、原則として行わないものとする。ただし、教育、学術及び文化に関する機関、団体等が行う展示会に貸し出す場合で、資料の保管について十分な管理体制がとられると認められるときは、業務に支障がない場合に限り、常勤館長等が貸出しを許可することができる。
- 2 前項ただし書きの規定により貸出しを受けようとする者は、資料借用申請書（別記様式第15号）又はこれに準ずる申請書を提出しなければならない。この場合において、貸出しを受けようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者（第5条第6項に規定する場合は、当該資料を管理している者。第8条第2項において同じ。）の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
 - 3 常勤館長等は、前項の申請により貸出しを許可したときは、資料貸出台帳（別記様式第16号）にその旨を登載し、申請者に対し資料貸出許可書（別記様式第17号）を交付するものとする。また、貸出しに際しては、借受人から借用書を提出させるものとする。
 - 4 資料の貸出しを行なう場合又は返納を受ける場合は、物品出納員並びに担当学芸員が立会し、受渡し又は受取りを行うものとする。この場合において、資料に破損、汚損又は亡失があったときは、常勤館長等は借受人に対し必要な指示をするとともに損害の賠償を請求するものとする。

（資料の公開・特別利用）

- 第8条 資料の公開は、陶磁文化館が主催して展示を行うとき又は前条の規定により貸出すとき以外には行わない。ただし、学術上の調査研究、文化振興等の目的で資料の閲覧、撮影、フィルム等画像原稿借用、

印刷物・電子媒体等での画像使用、複製等（以下「特別利用」という。）を求められたときは、資料の保存及び業務に支障がない場合に限り、常勤館長等は条件を付してその利用を許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により許可を得ようとする者は、資料特別利用許可申請書（別記様式第18号）又はこれに準ずる申請書を提出しなければならない。この場合において、許可を得ようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
- 3 常勤館長等は、前項の申請により特別利用を許可したときは、資料特別利用許可簿（別記様式第19号）にその旨を登載し、当該申請者に資料特別利用許可書（別記様式第20号）を交付するものとする。
- 4 資料の閲覧、撮影等実物の取扱を伴う特別利用は、担当学芸員の立会いのもとで行い、その指示に従わなければならない。
- 5 印刷物掲載等の画像使用を行った場合は、利用後速やかに成果品を常勤館長等に提出しなければならない。電子媒体による出版又は放送等で映像を使用した場合もこれに準ずる。

（補足）

第9条 この規定に定めるもののほか、資料の取扱いについて必要な事項は、別に常勤館長等が定める。

附 則

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年5月12日から施行する。

佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、佐賀県立九州陶磁文化館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(使用の申込み)

第2条 九州陶磁文化館の施設等の使用をしようとする者は、使用日の1月前までに、九州陶磁文化館施設等使用申込書（以下「申込書」という。）（様式第1号）を九州陶磁文化館の常勤の館長又は統括副館長（以下「常勤副館長等」という。）に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、常勤副館長等が特に認めた場合は、申込期限を経過しても申込書を提出することができる。

(使用の承認等)

第3条 常勤副館長等は、申込書を提出した者に対し、施設等の使用を認める場合は、九州陶磁文化館使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

2 常勤副館長等は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を承認しないものとする。

- 一 営利を主たる目的とするとき。
- 二 館内の秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 館の資料及び施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- 四 集团的又は常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- 五 その他管理上支障があると認められるとき。

(使用目的の変更等の禁止)

第4条 前条第1項の規定により使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用目的を変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは他に転貸することができない。

(使用者の義務)

第5条 使用者は、使用に当たり次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 定員を超えて入場させないこと。
- 二 使用目的以外の物品の販売若しくは陳列又は公告物の掲示若しくは配布をしないこと。
- 三 館の資料及び施設等を毀損しないこと。
- 四 その他常勤副館長等の指示に従うこと。

(使用承認の取消し等)

第6条 常勤副館長等は、使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の承認を取り消

し、又は使用の中止を命ずることができる。

- 一 申込書の内容に偽りがあった場合
- 二 その使用が第3条第2項各号のいずれかに該当することが明らかとなった場合
- 三 前二条の規定に違反した場合

2 前項の規定により使用の承認を取り消され、又は使用の中止を命ぜられたことにより使用者に損害を生ずることがあっても、これに対する補償は行わないものとする。

(弁償)

第7条 使用者は、施設等の使用において資料又は施設等を亡失し、破損し、又は汚損したときは、常勤副館長等の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

2 使用者は、使用目的である講演、会議、交流会その他の会合に参加している者が前項に掲げる行為を行った場合についても、常勤副館長等の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

(光熱水費の負担)

第8条 常勤副館長等は、使用者が使用に際して相当の電気又は水道等の使用を伴う場合は、当該使用の目的及び使用実態等を勘案して、当該使用者に対して相当の光熱水費の負担を求めるものとする。

2 使用者は、前項の規定により、常勤副館長等から光熱水費の負担を求められた場合は、指示された期限までに納入しなければならない。

(収益等を伴う場合の取扱い)

第9条 施設等を使用する際に、収益を伴う使用及び観覧料等を徴する使用の場合については、この要領にかかわらず佐賀県公有財産規則（昭和40年佐賀県規則第6号）第19条及び第20条の規定に基づき処理するものとする。

附 則

この要領は、平成20年11月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和3年6月1日から施行する。

様式第1号 九州陶磁文化館施設等使用申込書(略)

様式第2号 九州陶磁文化館使用承認書(略)

事業日誌

令和4.(2022) 4.9 常設展示などを更新し第1展示室リニューアルオープン

4.29 「第118回 有田国際陶磁展」 (～5.8)

5.28 リニューアル記念 特別企画展

「海を渡った古伊万里 ～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～」 (～7.18)

7.27 「第43回 九州新工芸展」 (～8.7)

8.11 「第2回 伊万里・有田焼伝統工芸士会、佐賀県陶磁器技能士連合会合同作品展」

(～8.21)

8.23 「第31回 陶千坊展」 (～8.28)

9.23 特別企画展 日本工芸会陶芸部会50周年記念

「未来へつなぐ陶芸 ―伝統工芸のチカラ」 (～12.4)

12.20 「工芸考写」展 (～12.25)

令和5.(2023) 1.17 「第54回 有田工業高等学校卒業制作展」 (～1.22)

2.7 「第4回九陶陶芸教室OB有志展」 (～2.12)

2.21 「第33回 九州陶磁器デザイナー協会展」 (～2.26)

3.7 「第38回 陶交会展」 (～3.12)

展 示 活 動

1. 常設展 九州の陶磁

当館の常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が、順を追って把握できるように構成されています。

第1展示室は、展示内容を外国人にもわかりやすいものに磨き上げるにより、有田焼をはじめとする本県が誇るやきもの文化の魅力や価値を国内外に発信することを目的にリニューアルしました。工事中の閉館期間を経て、令和4年（2022年）4月9日（土曜日）にオープンし、好評をいただいています。また、令和5年3月に、リニューアル後の内容をまとめた展示ガイドブック『有田焼の歴史～磁器が語る 奇跡のストーリー～』を刊行したほか、館内で利用できるスマートフォンを使用した展示ガイド「ポケット学芸員」を導入しました。スマートフォンにアプリケーションソフトをダウンロードすることによって、展示解説が表示されます。

順路は第1展示室（有田焼の歴史）から始まり、第2展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）を經由して第4展示室（現代の九州陶芸）で終わります。内容は、有田焼の歴史を映像や実物をもって知る第1展示室、江戸時代の有田磁器を展示した柴田夫妻コレクションの第2展示室、九州の古陶磁を鑑賞する第3展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第4展示室となり、それぞれ特色があります。

規模の大きな企画展が開かれる場合は、第1、第2展示室を除いて他の2室は一時的に撤収しています。

会 期 令和4年（2022年）4月9日（土）～
令和5年（2023年）3月31日（土）（休館日を除く）

展 示 室 第1展示室（有田焼の歴史）
第2展示室（柴田夫妻コレクション）
第3展示室（九州の古陶磁）
第4展示室及び展示ホール（現代の九州陶芸）



第1展示室
日本磁器の完成

（1）有田焼の歴史（第1展示室）

この展示室では、有田焼の歴史を主題として、その誕生から技術改良と確立、近代化等、各テーマの小部屋を巡ることによって有田焼のストーリーを体感することができます。各テーマを象徴する有田焼の名品を展示し、映像や空間とを組み合わせで紹介しています。また、有田焼の歴史を鑑賞した後は、有田焼を通してやきものに関心をもってもらえるように、さらに4つのテーマを設定しています。文様を選んで自分だけの有田焼をデザインできる「MY ARITA」コーナーでは、デザインした皿といっしょに写真を撮ることもできます。

展示内容を解説した冊子『常設展示ガイドブック 有田焼の歴史～磁器が語る 奇跡のストーリー～』を刊行しています。

なお、江戸時代に海外輸出された有田焼の蒲原コレクション101点は、この展示室で御覧になれます。

【展示内容】

1. 日本磁器の誕生
2. 技術の革新
3. 日本磁器の完成
4. 海を渡る
5. 暮らしを彩る
6. 新時代の幕開け
7. 今とこれから

〔テーマ展示〕

有田焼ができるまで
有田焼 Q&A
やきもの産地マップ
有田焼のデザイン



第1展示室
日本磁器の誕生 技術の革新

(2) 柴田夫妻コレクション (第2展示室)

平成2年(1990年)から同15年(2003年)にかけて柴田明彦・祐子夫妻から御寄贈いただいた江戸時代の有田磁器10,311点のうち518件965点を常設展示しています。

このコレクションの特徴は、有田磁器の歴史の変遷がわかるように各時代の様々な種類の作品が網羅されている点にあります。

この展示室では次のようなコーナーを設けて、有田磁器の様式の特徴、技術の変化、器種別の変遷などを紹介しています。

令和4年度にはコレクションの軌跡を紹介するコーナーを新設するなど一部をリニューアルしました。

【コーナー】

1. 柴田夫妻コレクション
2. 年代による変遷
3. 江戸時代の食膳
4. 種類
5. 成形・装飾
6. 手塩皿
7. 銘
8. 芙蓉手皿
9. 出土陶片との比較



コーナー3. 江戸時代の食膳



コーナー9. 出土陶片との比較

(3) 九州の古陶磁 (第3展示室)

常設展「九州の古陶磁」は、佐賀・長崎・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄各県の主に江戸時代の陶磁器を紹介しています。

唐津焼に始まる肥前の陶磁器は、日本初の磁器を産み出した後、その発展にともない初期伊万里様式、柿右衛門様式、鍋島様式など様々な様式を産み出してきました。

また、九州各県に点在する茶陶の名窯や日常生活の中で愛された民窯では、地域色豊かな陶器や磁器が焼かれています。

展示総数は館蔵品を中心に101件134点です。

※次の期間は特別企画展のため展示休止(5月17日～7月29日、9月13日～12月16日)

(4) 現代の九州陶芸 (第4展示室)

歴史的に多様な展開がみられる九州の陶芸は、それぞれ茶陶として、また芸術性の高い美術工芸品として、あるいは民陶として今日に受け継がれています。

こうしたなかで、創作的な活動を続けている陶芸作家を選び、その代表作を一堂に紹介したのが第4展示室の「現代の九州陶芸」です。現在、九州5県の95名による作品を展示しています。県別では佐賀県が最も多く、福岡県、鹿児島県の順で続いています。

展示室では、日本工芸会に所属している作家作品、さらに日展系・民陶系などの作家作品を御覧になれます。また水指・茶入など茶道具関連の作品も鑑賞できます。なお、日本芸術院会員や重要無形文化財保持者の作品は展示ホール(有田焼からくりオルゴール時計横)に展示しています。伝統的な陶芸技術を駆使した作品から、従来の陶芸技術とはおもむきの異なる前衛的な作品までが展示され、陶芸文化の多様性が示されています。

※次の期間は特別企画展等のため展示中止(4月19日～7月29日、9月6日～12月9日)

【現代の九州陶芸 展示目録】令和4年（2022年）4月9日～4月17日、7月30日～9月4日、12月10日～3月31日

展示総数 : 95件97点

50音順

No.	氏名	県名	作品名	製作年	出品・入賞	所属
1	青木龍山	佐賀県	天目染付線彫花器	平成19年（2007）		日展
2	荒木秀樹	鹿児島県	苗代川白彫文鉢	平成13年（2001）	第48回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
3	有山長佑	鹿児島県	秋韻＝式	令和2年(2020)	改組新第7回日展出品姉妹作	日展
4	有山禮石	鹿児島県	蓬莱山	平成29年（2017）	鹿児島県連合華道会・鹿児島陶芸協会合同展出品作	日展
5	石添秀正	長崎県	爽奏	平成30年（2018）	改組新第5回日展出品作	日展
6	石橋國男	佐賀県	浜辺	平成30年（2018）	平成30年名護屋城博物館酔陶会展出品作	日展
7	石原祥嗣	福岡県	彩陶扁壺	平成30年（2018）	第115回有田国際陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
8	井上俊一	福岡県	錫白瑠璃金銀彩方器	平成19年（2007）	館蔵	無所属
9	井上泰秋	熊本県	青小代面取水指	平成30年(2018)		民陶
10	井上萬二	佐賀県	白磁緑釉椿彫文面取壺	平成10年(1998)	館蔵	日本工芸会
11	14代今泉今右衛門	佐賀県	色絵薄墨墨はじき雪文鉢	平成24年（2012）	館蔵	日本工芸会
12	今村博	佐賀県	流映	令和3年（2021）		日展
13	岩田義實	佐賀県	切り取られた風景	令和2年（2020）		無所属
14	浦郷好文	佐賀県	夏・蓮華	令和2年（2020）	第70回佐賀県美術展覧会	日展
15	江口勝美	佐賀県	和紙染剝抜更紗軸宮	平成9年（1997）	館蔵	日本工芸会
16	太田孝宏	福岡県	飴釉白掛け鉢	平成22年（2010）		民陶
17	太田秀隆	福岡県	藁灰釉彩泥鉢	平成22年（2010）		日本工芸会
18	大橋裕	佐賀県	Firenze II	平成22年(2010)		無所属
19	大村就康	福岡県	白釉香炉	令和3年（2021）		無所属
20	大宅利秋	佐賀県	陶花	令和3年（2021）	第117回有田国際陶磁展入選作品	日展
21	小笠原長春	佐賀県	鍋島青磁羊歯文八角大皿	平成20年(2008)		日本工芸会
22	岡本作礼	佐賀県	唐津叩き焼盃壺	令和元年（2019）		無所属
23	小川善光	佐賀県	みなも	平成30年（2018）	第31回現代工芸九州会展出品作	日展
24	奥川俊右衛門	佐賀県	白磁花瓶	令和元年（2019）		日本工芸会
25	尾前喜八郎	鹿児島県	銀彩陶鐸	平成30年(2018)		無所属
26	甲斐一	福岡県	鉄釉窯変花器	令和3年（2021）	第76回福岡県展会員の部出品作	日本工芸会
27	梶原茂正	佐賀県	月白釉縞文様壺	令和4年（2022）		日本工芸会
28	勝田文博	佐賀県	和紙染紫陽花花器	令和3年（2021）	第55回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
29	亀井楽山	福岡県	高取白釉七宝透し平水指	令和元年（2019）		日本工芸会
30	河口純一	佐賀県	釉裏彩華文花器	平成30年(2018)	西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
31	川崎精一	佐賀県	月下美人陰刻花器	平成26年（2014）	第61回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
32	川添貞秀	長崎県	青白磁鎬彫壺	平成31年（2019）	西部伝統工芸展出品作	日本工芸会

33	神田和弘	鹿児島県	集い	平成 24 年(2012)	第 109 回九州山口陶磁展第 1 部 第 1 位文部科学大臣賞	無所属
34	久保田烈工	熊本県	青白磁彫文壺	平成 30 年 (2018)		日本工芸会
35	久保満義	鹿児島県	滔風 2019 ・ I	令和元年 (2019)	第 58 回日本現代工芸美術展出品作	日展
36	熊谷無造	福岡県	絵上野茶碗	平成 20 年 (2008)		日本工芸会
37	熊本義泰	佐賀県	青磁紫陽花文方形鉢	平成 30 年(2018)	第 53 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
38	高鶴淳一	福岡県	井戸茶碗	令和 3 年 (2021)		無所属
39	高鶴元	福岡県	彩釉割高台茶	令和 2 年 (2020)		無所属
40	五嶋竜也	熊本県	青白磁蓮鉢	令和 2 年 (2020)		日本工芸会
41	厚東孝治	鹿児島県	弥生 - 邑の碑	平成 13 年 (2001)		日展
42	14 代酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手撫子文大皿	平成 10 年 (1998)	館蔵	日本工芸会
43	15 代酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手葡萄文皿	令和 3 年 (2021)		日本工芸会
44	坂本義弘	佐賀県	布染葉文花器	平成 20 年 (2008)	佐賀県陶芸協会展出品作 館蔵	日本工芸会
45	佐々木厚	福岡県	陶壺 - 2018	平成 30 年 (2018)		無所属
46	貞松善次	佐賀県	晨	平成 22 年(2010)	第 42 回日展入選作	日展
47	嶋田敏生	佐賀県	連作 パペルの塔	平成 31 年 (2019)	第 116 回有田国際陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	無所属
48	庄村健	佐賀県	藍染花器	平成 8 年(1996)	第 93 回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞	日本工芸会
49	庄村久喜	佐賀県	白妙彩磁壺	平成 30 年 (2018)		日本工芸会
50	白武初芳	佐賀県	望郷 - 2022	令和 4 年 (2022)	第 44 回日本新工芸展出品作	日展
51	世良彰彦	福岡県	彩華”翔”	平成 20 年 (2008)	第 40 回日展出品作	日展
52	添田和信	福岡県	黒地灰釉五稜壺	令和 3 年 (2021)		日本工芸会
53	高木清次	長崎県	水指「森の詩」	平成 16 年 (2004)	日本新工芸展出品作	日展
54	高田さところ	鹿児島県	暉環 - 15 ・ A	平成 27 年(2015)	改組新第 2 回日展出品作	日展
55	13 代高取八山	福岡県	高取重ね茶碗	令和 2 年 (2020)		無所属
56	高森誠司	佐賀県	薄萌葱青磁鉢	令和元年 (2019)	第 66 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
57	立井清人	長崎県	埋め込み大鉢	平成 18 年 (2006)	第 104 回九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
58	田中忍	佐賀県	始夏	平成 8 (1996)	第 4 6 回 佐賀県美術展 文部大臣奨励賞 館蔵	日展
59	15 代沈壽官	鹿児島県	薩摩朝顔香爐	令和 2 年 (2020)		無所属
60	津金日人夢	熊本県	青磁花瓶	令和 2 年 (2020)		日本工芸会
61	辻聡彦	佐賀県	「波立つ」	平成 14 年 (2002)	第 99 回九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日展
62	寺崎康子	佐賀県	軌跡	令和元年(2019)	改組新第 6 回日展出品作	日展
63	照井一玄	佐賀県	装う	令和元年 (2019)	現在形の陶芸 萩大賞展 V 入選	日展
64	徳澤守俊	福岡県	朝鮮唐津花器	平成 28 年 (2016)	第 38 回田部美術館大賞 茶の湯の造形展出品作	日本工芸会
65	中尾純	佐賀県	白磁面取線彫花器	令和元年 (2019)		日本工芸会
66	中尾恭純	佐賀県	四方禪文彩色象嵌面取花生	平成 20 年 (2008)	第 105 回九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
67	中尾龍純	佐賀県	染付三色彩桜宝彫七宝文様壺	令和 3 年 (2021)		日本工芸会
68	14 代中里太郎右衛門	佐賀県	唐津墨雲面取壺	平成 29 年(2017)		日本工芸会
69	中里逢庵	佐賀県	叩き三島象嵌貝焼締魚文壺	平成 13 年 (2001)	第 33 回日展出品	日展

70	中島宏	佐賀県	青瓷線彫文壺	平成 21 年（2009）	館蔵	日本工芸会
71	中島康夫	佐賀県	2004-3Ⅱ	平成 16 年（2004）	第 101 回九州山口陶磁展 第 1 部第 1 位 文部科学大臣奨励賞	日展
72	中村糸美こ	佐賀県	和紙染鉢	平成 30 年（2018）		日本工芸会
73	中村清吾	佐賀県	白磁鉢	平成 25 年(2013)	第 110 回九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
74	中村慎	佐賀県	爽風	平成 25 年（2013）	第 45 回日展出品作	日展
75	西山宗元	長崎県	絞り釉更紗文壺	平成 25 年（2013）	第 29 回西部工芸展入選作	日本工芸会
76	西山正	佐賀県	青白磁千段深鉢	平成 7 年(1995)	第 92 回九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
77	野中拓	佐賀県	天目幾何文花器	平成 30 年（2018）		日本工芸会
78	馬場九洲夫	佐賀県	彩雲・19	令和元年(2019)	改組新第 6 回日展	日展
79	福島清海	佐賀県	連山	平成 23 年（2011）	第 28 回日本新工芸展出品作	日展
80	福吉浩一	熊本県	炭化線象嵌鎬花器	令和元年（2019）	第 66 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
81	藤井剛	佐賀県	氷山	平成 11 年（1999）	第 30 回日展出品作	日展
82	藤ノ木士平	佐賀県	唐津灰被月と稚龍と四方十牛図壺	令和 2 年(2020)		無所属
83	前田泰昭	佐賀県	祭り	平成 29 年（2017）	改組新第 4 回日展出品作	日展
84	松尾勝也	佐賀県	艶釉彩深鉢「創」	令和元年（2019）	第 66 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
85	松尾潤	佐賀県	青瓷壺	平成 30 年（2018）	第 65 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
86	松本浩	佐賀県	彫文花器	平成 28 年（2016）		日本工芸会
87	丸田延親	佐賀県	夕暮れ	平成 30 年（2018）	第 57 回日本現代工芸美術展出品作	日展
88	溝上藻風	佐賀県	唐津石はぜ茶盃	令和 2 年(2020)		日展
89	宮尾正隆	佐賀県	水辺の葦	令和 2 年（2020）		日展
90	宮崎祐輔	佐賀県	白金銀彩長皿	平成 30 年（2018）	第 65 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
91	百田暁生	佐賀県	黄瓷花入	令和 3 年（2021）		無所属
92	矢鋪與左衛門	佐賀県	青白磁椿円深鉢	平成 22 年（2010）	全国伝統工芸士作品展出品作	日本工芸会
93	山口文彦	佐賀県	青白磁線文壺	平成 29 年（2017）	第 64 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
94	山口幹彦	佐賀県	白磁八角面取壺	平成 30 年（2018）		日本工芸会
95	山口春右衛門	長崎県	白磁輪花大壺	平成 12 年（2000）	第 63 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会

所属別構成		県別構成	
日本工芸会	48 名	佐賀県	60 名
日展系	30 名	福岡県	15 名
民陶系	2 名	鹿児島県	9 名
無所属	15 名	長崎県	6 名
計	95 名	熊本県	5 名
		計	95 名



13 切り取られた風景
岩田 義實
2020 年 佐賀県



80 炭化線象嵌鏝花器
福吉 浩一
2019 年 熊本県
第 66 回日本伝統工芸展入選作



54 暉環—15・A
高田 さとこ
2015 年 鹿児島県
改組新第 2 回日展出品作



74 爽風
中村 慎
2013 年 佐賀県
第 45 回日展出品作



32 青白磁鏝彫壺
川添貞秀
2019 年 長崎県
西部伝統工芸展出品作



10 白磁緑釉椿彫文面取壺
井上萬二
1998 年 佐賀県
館蔵

2. 企画展・テーマ展など

◎主催展

(1) リニューアル記念 特別企画展 海を渡った古伊万里 ～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～

オーストリア、ウィーン近郊にたたずむ古城ロースドルフ城では、城主ピアッティ家により古伊万里を中心とした陶磁器が多数コレクションされ、城内を美しく飾る調度品として大切に伝えられてきました。

ところが、第二次世界大戦の戦禍によりその多くが破壊されてしまいました。ピアッティ家はそうした悲劇により破壊された陶片を破棄せず、城内の一室に陶片を集め、平和への願いも込めてインスタレーション展示を行い一般公開してきました。

本展は、国内にある古伊万里の名品とともに、破壊された陶片を含むロースドルフ城所蔵の日本、中国、西洋の陶磁器コレクションを海外において初公開するものです。日本の修復技術による復元作品も展示し「再生」にも焦点を当て、波乱に富んだロースドルフ城コレクションの全貌を紹介しました。

- 主 催 佐賀県立九州陶磁文化館
- 特別協力 ロースドルフ城ピアッティ家
一般社団法人古伊万里再生プロジェクト
- 企画協力 株式会社キュレーターズ
- 会 場 佐賀県立九州陶磁文化館
第3～5展示室
- 会 期 令和4年(2022) 5月28日(土)～7月18日(月・祝) 45日間
- 休 館 日 月曜日(7月18日は開館)
- 出 品 数 約180件
- 観 覧 料 一般600円(500円)
大学生300円(200円)
高校生以下及び障害者手帳等をお持ちの方とその介護者(1名)は無料
*()内は20名以上の団体料金
- 入館者 4,249人 1日94人
- イベント ①記念講演会「ロースドルフ城所蔵の陶磁器が語る物語」
講師：荒川正明氏(学習院大学教授・本展監修者)
日時：6月18日(土曜日)
会場：九州陶磁文化館 講堂
参加費：無料
②特別対談「『破壊』から再生へ～蘇った陶片たち」
講師：蒔山浩司氏(修復家)・荒川正明氏
日時：6月19日(日曜日) 13:30～15:00
③ギャラリー・トーク
日時：会期中の毎週土曜日 14:00から1時間程度
(6月18日をのぞく)
- 展示構成
 - ・第Ⅰ部 日本磁器誕生の地ー有田
 - ・第Ⅱ部 海を渡った古伊万里の悲劇ーウィーン、ロースドルフ城



展示風景



展示風景

(2) 日本工芸会陶芸部会 50 周年記念 「未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ」

日本工芸会陶芸部会設立 50 周年を記念し、伝統陶芸を支えてきた日本工芸会陶芸部会の活動を振り返りつつ、さらにはこれからの伝統陶芸の歩みを考える機会として、伝統工芸の粋を紹介する展覧会を開催しました。伝統とわざを重んじながら作陶に精魂をこめている全国各地の陶芸家の代表作を展示し、歴代の人間国宝の名品から新進作家の最新作まで 137 名の作家による代表作品 139 点を 3 部構成で紹介しました。会場で上映した人間国宝である井上萬二氏の貴重な記録映像(1969 年アメリカ合衆国ペンシルバニア州立大学にて撮影)も好評でした。

監修者である唐澤昌弘氏(国立工芸館館長)による記念講演会では、日本工芸会の発足から陶芸部会の活動の歴史、現在注目される新進気鋭の陶芸家の取組について解説いただき、わざの継承と未来への展開について理解を深めることができました。また、作品を出展している九州の陶芸家によるトークショーや展示室でのアーティストトークを開催し、陶芸家の作陶への思いや技法について直に聞く貴重な機会となりました。世代を超えた多くの陶芸作品を観ることで、伝統性を志向する陶芸家が守りつないでいるもの、新しく創り出してきたものを感じることができ、好評のうちに終了しました。

なお、この展覧会は令和 5 年夏まで全国巡回する予定です。

- 主 催 佐賀県立九州陶磁文化館 公益財団法人日本工芸会
NHK エンタープライズ九州
- 会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第3～5展示室
- 会 期 令和4年(2022) 9月23日(金)～12月4日(日) 63日間
- 休館日 月曜日 ただし10月10日は開館し、10月11日休館、11月21日は開館
- 観覧料 一般 600 円 (500 円) 大学生 300 円 (200 円)
* () 内は20名以上の団体料金 高校生以下及び障害者手帳又は指定
難病受給者証等をお持ちの方とその介助者(1名)は無料
- 入館者 4,266 人 1日 67 人
- 出品数 陶芸家137名の代表作品139点(人間国宝37名の38点を含む)
- 展示構成 I 章 伝統工芸(陶芸)の確立
II 章 伝統工芸(陶芸)のわざと美
III 章 未来へつなぐ伝統工芸(陶芸)
- 監 修 国立工芸館館長 唐澤昌弘



アーティストトーク
(江口勝美氏)



国立工芸館長 唐澤昌弘氏による
記念講演会「日本の伝統陶芸のあゆみと未来」



トークショー「新たな陶芸の美を求めて」(左より福島善三氏
津金日人夢氏 中村清吾氏)



トークショー「三右衛門大いに語る」



展示風景



展示風景

◎共催展

(1) 第 118 回有田国際陶磁展（美術工芸品・オブジェ部門）

趣 旨

我が国における磁器発祥の地、佐賀県有田町に世界の陶磁器作品を集め、一般の鑑賞に供し、技術の交流、品質の向上、デザインの改善を図り、伝統工芸の継承と産業的発展を期して、この陶磁展を開催します。

＜開催要項より＞

審 査 評

2022 年、わたしたちの日常を揺るがす紛争や地震、そしてコロナ禍といった、心を傷める出来事、そして閉塞感が漂っている今日。少しでも日常をとりもどし、また心や生活を豊かにしてくれる芸術活動の一翼になう、第 118 回有田国際陶磁展が開催されますことに、感謝とお慶びを申し上げます。

今回の出品点数は前回より 20 点減少こそしたものの、様々な創造・視点による作品 80 点がエントリーされました。審査員は石橋裕史さん、桑原紀子さんと徳留の 3 名。一次審査で入選作品 67 点を、二次審査で入賞候補作品 17 点を選定し、合議の上で 14 点の入賞作品を決定しました。

第一席の文部科学大臣賞を受賞された岡田優さんの《白釉稜線浅鉢》。口径 50 cm をこえる大振りの鉢で、失透性のあるクリーム色の釉薬が全体に柔かい表情を生み出しています。一方で、器の外側から内側へつづく稜線、またその間をつなぐエッジの効いた口づくりが、作品全体にほどよい緊張感をもたらしています。この作品は横、上、斜めと色々な角度から見ていただき、表情の変化も楽しんでいただけることも魅力です。

第二席の佐賀県知事賞を受賞された福吉浩一さんの《炭化線象嵌鎬陶管「さざ波」》。こちらも長さ 50 cm 近い非常におおきな作品。黒色の背景に象嵌により白から青へと徐々に色味を変化させながら、しかも微妙に線の太さを変えていくことで表された線文が、鎬削りにより生み出された複雑な形と非常によく調和する効果を生み出しています。蓋をあけると、内側にもリズムカルに配された線象嵌の美しさに思わず「ワァー」と、審査員一同驚きの声をあげてしまった作品です。

また有田町長賞を受賞された中尾純さんの《釉象嵌鉢》は、器の形そのものが緩やかに波打つように仕上げられたフォルムと釉象嵌による文様が連動し、また白磁の美しさとも相まって端正かつ気品溢れる作品です。

佐賀県陶芸協会賞の宮島正志さんの《茶に想う》は、確かな技術力をもとに生み出されたフォルムに、愛らしい色彩とデザインが現代的かつ肩の力をぬいて茶の湯を楽しめそうな雰囲気にさせてくれる作品です。

今回惜しくも入選されなかった作品も含め、作り手の思いやその表現の形態、方向性は無限で非常に多様であり、それが見るひと、使うがわに感動を与えてくれる、またそれが陶芸の魅力であることを再認識させてくれる機会となりました。ぜひ、一人でも多くの方に本展覧会に足を運んでいただき、作品を見て楽しんでいただきたいと思います。

＜審査員長 徳留大輔氏 審査評より＞

会 期 令和 4 年(2022 年) 4 月 29 日（金・祝）～5 月 8 日（日）（10 日間）

会 場 第 4 ・ 第 5 展示室

主 催 佐賀県、有田町、有田商工会議所

出品概要 入選 67 点 うち入賞 14 点

招待作品 4 点（美術工芸品・オブジェ部門）

出品目録 A 4 版 24 ページカラー 図版 36

入 館 者 2,560 人 1 日平均 256 人

審 査 員 石橋 裕史 日本工芸会理事

桑原 紀子 日展会員

徳留 大輔 出光美術館 学芸課長



「白釉稜線浅鉢」

岡田 優

第一位 文部科学大臣賞

美術工芸品・オブジェ部門〈出品概要〉



展示風景

県 名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
山 口 県	3	3	3	1
福 岡 県	7	8	8	1
佐 賀 県	34	35	30	7
長 崎 県	6	6	5	0
熊 本 県	4	4	3	1
大 分 県	1	1	0	0
宮 崎 県	1	1	1	0
鹿児島県	1	2	2	0
沖 縄 県	0	0	0	0
他 国 内	20	20	15	4
海 外	0	0	0	0
計	77	80	67	14

<有田国際陶磁展 入賞者名簿>

賞	入賞作品名	氏 名	住 所
文部科学大臣賞	白釉稜線浅鉢	岡田 優	京都府宇治市
2位・佐賀県知事賞	炭化線象嵌鎬陶管「さざ波」	福吉 浩一	熊本県菊池市
3位・有田町長賞	釉象嵌鉢	中尾 純	佐賀県西松浦郡有田町
佐賀県陶芸協会賞	茶に想う	宮島 正志	東京都北区
朝日新聞社賞	WAVE II	丸田 巧	福岡県うきは市
熊本放送賞	彩色象嵌花器	中尾 恭純	佐賀県西松浦郡有田町
佐賀県商工会議所連合会賞	萌芽の記憶	浦郷 正一郎	佐賀県武雄市
佐賀新聞社賞	愛欲	谷口 瑛梨	佐賀県嬉野市
サガテレビ賞	連作 涅槃	嶋田 敏生	佐賀県西松浦郡有田町
陶業時報社賞	赤彩線文花器	國定 克彦	京都府船井郡京丹波町
西日本新聞社賞	白妙彩磁壺	庄村 久喜	佐賀県西松浦郡有田町
日本経済新聞社賞	紅白鮮 斜陽 -2203-	増原 嘉央理	北海道札幌市
読売新聞社賞	彩色化粧波線刻文花器	上田 敦之	山口県防府市
陶都有田国際交流協会賞	Subtleties	Johanna De Maine	佐賀県杵島郡白石町

<招待作品> (審査員・重要無形文化財)

作 品 名	出 品 者 名	住 所
彩刻瑠璃磁森閑	石橋 裕史	京都府船井郡京丹波町
風紀行	桑原 紀子	京都府京都市
白磁丸形壺	井上 萬二 (重要無形文化財)	佐賀県有田町
色絵雪花薄墨墨はじき百合文額皿	今泉 今右衛門 (重要無形文化財)	佐賀県有田町

◎後援展

(1) 第43回九州新工芸展

趣 旨

九州新工芸家連盟は工芸の本質を問い、現代に望まれ、未来を明示できる生活造形を確立することを目標としています。生活のなかに求められるもの、生活を豊かにするための造形美を追求し、多様化する造形指向の中にある工芸の位置付けを明確にしたいと考えています。工芸活動は、陶芸、金工、漆芸、染色をはじめ、木竹、皮革、硝子、七宝、人形、紙工芸など、多岐にわたり生活との接点が非常に多いものです。各作家の各分野で素材を生かした造形作品の出品を期待します。＜開催要項より＞

会 期 令和4年（2022年）7月27日（水）～8月7日（日）（11日間）

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館

主 催 九州新工芸家連盟

後 援 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県

佐賀県立九州陶磁文化館・NHK佐賀放送局・読売新聞社

佐賀新聞社・サガテレビ

展示内容 34点（磁器4点・陶器4点・染色・16点・竹工7点・人形2点・他1点）

入 館 者 870人 1日平均約79人

審 査 員 鈴田 由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館館長

森川 誠一 NHK佐賀放送局 経営管理企画センター副部長

生野 徳三 公益社団法人日本新工芸家連盟審議員

田中 嘉生 公益社団法人日本新工芸家連盟理事

田中 忍 公益社団法人日本新工芸家連盟審議員

吉村 希代子 公益社団法人日本新工芸家連盟会員

井上 康 公益社団法人日本新工芸家連盟会員



「往古来今」
渡邊成樹
令和4年度 大賞

九州新工芸 令和3年度受賞者リスト				
賞	入賞作品名	分野	受賞者氏名	住所
大賞	往古来今	染色	渡邊 成樹	武雄市
福岡県知事賞	草の譜	紙工	武富 ふき子	福岡市
佐賀県知事賞	ゼラニウム	染色	蓮井 ひろ	福岡市
長崎県知事賞	悠々と	人形	山田 和子	長崎市
熊本県知事賞	波のり旅	染色	荒木 久仁子	天草市
大分県知事賞	花風	竹工	大鍛治 未来	豊後高田市
宮崎県知事賞	夏	竹工	谷口 倫都	竹田市
鹿児島県知事賞	午睡	染色	中野 裕子	鹿児島市
九州陶磁文化館館長賞	光の窓	陶器	井上 康	福岡市
城秀男賞	痕跡の風景	染色	鳥谷 さやか	佐賀市
読売新聞社賞	Happy Wedding	染色	猪俣 美帆	福岡市

佐賀新聞社賞	遊泳	染色	津村 光璃	佐賀市
NHK 佐賀放送局賞	ただそこにいるだけで	染色	宗和 彩芽	佐賀市
サガテレビ賞	翳り	竹工	長谷川 絢	竹田市
奨励賞	浮遊	染色	青木 美玖	佐賀市
奨励賞	浮遊	竹工	松本 綾香	別府市

（２）第２回伊万里・有田焼伝統工芸士会・佐賀県陶磁器技能士連合会合同作品展

趣 旨

この展示会を通じて伝統的工芸品伊万里・有田焼がいかに関生活に深く根差し、興味溢れるものかを、さらには現在の伝統的工芸品産業伊万里・有田焼の姿と活動を県民に親しみやすく、また楽しく表現し、伊万里・有田焼のある暮らしに興味と再認識を呼び起こすとともに、新しい生活文化を広く提案するものです。＜開催趣旨より＞

- 会 期 令和４年（２０２２年）８月１１日（木・祝）～８月２１日（日）（１０日間）
 会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第５展示室
 主 催 伊万里・有田焼伝統工芸士会、佐賀県陶磁器技能士連合会
 後 援 佐賀県立九州陶磁文化館、（一財）伝統的工芸品産業振興協会、佐賀県陶磁器工業協同組合、
 国立大学法人佐賀大学
 展示内容 伝統工芸士と陶磁器技能士による作品 約１５０点を展示
 入 館 者 ９３１人 １日平均９３人
 イベント エントランス、展示会場にて応援メッセージを収録したＰＲ動画を放映



展示風景



展示作品

（３）第３１回 陶千坊展

趣 旨

「子供のよう純真・純粋な感性と心で焼き物を製作し、新しいことに果敢に挑戦する仲間として集い、自由でかつ
 達な運営により相乗的な技術的向上と発展を目指す陶芸展」の開催を目標とし、今回で３１回目を迎える。

＜開催企画書より＞

- 会 期 令和４年（２０２２年）８月２３日（火）～８月２８日（日）（６日間）
 会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第５展示室
 主 催 陶千坊
 後 援 佐賀県立九州陶磁文化館
 展示内容 陶芸作品全般（オブジェ、器、陶人形等） ４４１点を展示
 入 館 者 ５２１人 １日平均８７人



展示風景



展示作品

(4) 「工芸考写」展

趣 旨 工芸考写は、陶芸家西隆行と写真家中島紳一郎によって立ち上げたグループです。陶芸的表現とは何かを追求した共同制作の映像作品の制作をおこない、2020年4月に「工芸的視点と写真」展を渋谷ヒカリエにて開催いたしました。轆轤技術での表現や磁器の素材表現を行った西隆行のオブジェと、陶芸家のこねた土の表情に新体感を感じ撮影された写真など焼き物の町有田ならではの視点で撮影された中島紳一郎の写真を展示しました。今回の「工芸考写」展では、新たに辻拓真が参加して、さらにボリュームのある展示を開催いたします。

<開催要項より>

会 期	令和4年（2022年）12月20日（火）～12月25日（日）（6日間）
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室
主 催	工芸考写
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	西隆行による陶芸作品、中島紳一郎による写真と映像作品、辻拓真による陶芸作品 合計38作品
入 館 者	354人 1日平均59人



展示風景



展示作品



（５）第 54 回有田工業高等学校卒業制作展

趣 旨

本校は工業の原点である「ものづくり」を通して、創造的で、行動力に満ちた、他者への思いやりの心を持つ人間性豊かなスペシャリストの育成を目指しております。

このたび開催予定の卒業制作展で発表する作品は、卒業学年の「課題研究」で取り組んだものを中心に、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作したものです。

この作品展は 53 年前にデザイン科のみでスタートしましたが、平成元年よりセラミック科が加わり年ごとに充実し、西暦 2000 年には創立 100 周年を機に本校の一層の発展を期して全校・全学科をあげて開催するとなりました。今後も「ものづくり」の有田工業高校の更なる飛躍を目指す所存でございますので、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。＜開催要項より＞

会 期 令和 5 年（2022 年）1 月 17 日（火）～1 月 22 日（日）（6 日間）

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第 5 展示室及び一般研修室

主 催 佐賀県立有田工業高等学校

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 生徒数 161 人（全日制：150 人 定時制：8 人 聴講生 3 人）による約 200 点展示

展示内容

【セラミック科】ろくろ成形の研究、手びねり・板づくり成形の研究、鋳込み・押し型成形の研究、陶磁器加飾法の研究、リサイクル磁器の研究、ファインセラカー 3 号の制作、釉薬、陶紙の研究

【デザイン科】 「つながり」～社会とのつながりを持ちながら、モノやコトを発信～設定した共通テーマを元に手がけた地域におけるデザイン企画の提案（商品企画・製品試作・ブランディング・イベント企画運営・地域活性化プラン・他）

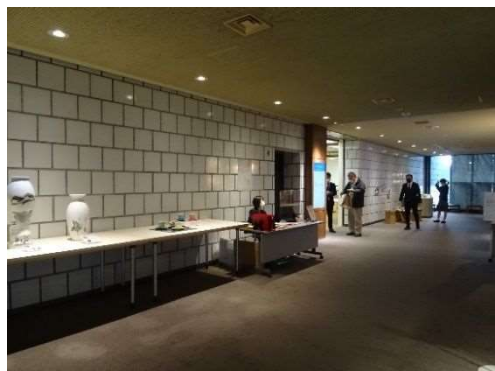
【電 気 科】 プロジェクションマッピング、サッカーロボットの製作、ビーコロの製作、マイコンの研究、ソーラークッカー、人工衛星の製作、3D 照明

【機 械 科】 原動機バイクのレストア、UFO キャッチャーの製作、スリッパ立ての製作、水槽を作ろう、鋳造による表札作り、3D CAD の研究、RespbeddyPi を用いた AI（人工知能）の研究

【定 時 制】 定時制（セラミック科、デザイン科）の生徒作品・聴講生作品

入館者 1,717 人 1 日平均 286 人





（６）第４回九陶陶芸教室 OB 有志展

趣 旨

日ごろ九州陶磁文化館において作陶に励んでいる陶芸教室卒業生有志による作品展を開きます。陶芸教室で得た知識と体験をもとに自己研鑽に努めて参りました。アマチュアで未熟ではありますが多くの方々に作る喜び、楽しさ、陶芸の奥深さなどを少しでも伝えることができればと開催するものです。＜開催要項より＞

会 期 令和５年（2023）２月 7 日（火）～2 月 12 日（日）（６日間）

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館 第 5 展示室

主 催 九陶陶芸教室 OB

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 茶碗、壺、皿、鉢、花瓶、オブジェなど

作品数 280 点

入館者 703 人 １日平均 117 人



（７）第 33 回九州陶磁器デザイナー協会展

趣 旨

九州陶磁器デザイナー協会は、佐賀・長崎にまたがる肥前窯業圏を中心として、陶磁器デザインに関わる企業デザイナー・教育者・窯業技術センター職員等の親睦と研修の集まりです。

その始まりは、昭和 26 年にまでさかのぼりますが、会としての形式は特に整えず、問題意識のある人達が自由に集まって発言をする場として永く続いてまいりました。陶磁器を通して地域のなかに根付き、戦後デザイン運動の九州での母体ともなってきました。

このたび第 33 回目の協会展を開き、現在の各会員の作品を紹介すると共に、成果を多くの人に観て頂きたいと思ひます。

＜企画主旨より＞

会 期 令和5年(2023 年) 2 月 21 日(火)～2 月 26 日(日) (6日間)

会 場 第 1 展示室

主 催 九州陶磁器デザイナー協会

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館、有田町、波佐見町、佐賀県陶磁器工業協同組合、波佐見陶磁器工業協同組合

展示内容 九州陶磁器デザイナー協会（通称 DAKT）の会員によるテーマに合わせた陶磁器作品

第 33 回目のテーマは「それでもつくるもの」

作 品 数 296 点

入 館 者 780 人 １日平均 130 人



展示風景

（8）第38回 陶交会展 「roots」

- 趣 旨** 各窯の歴史からくるルーツ、伊万里有田など産地からくるルーツ、それ以外にも個人としてのクリエイティブや感性におけるルーツ、など様々な解釈で制作し発信できればと思っております。 また、今回も佐賀大学有田キャンパスで学ぶ学生と共同企画しております。 <開催要項より>
- 会 期** 令和5年（2023年）3月7日（火）～3月12日（日）（6日間）
- 会 場** 佐賀県立九州陶磁文化館 第5展示室
- 主 催** 陶交会（令和4年4月1日、有田陶交会から改称）
- 後 援** 佐賀県立九州陶磁文化館、肥前陶磁器商工協同組合、佐賀県陶磁器工業協同組合
- 展示内容** テーマ『roots』、陶交会に参加している14名により制作発表される作品と、佐賀大学有田キャンパスの学生の作品
- 作 品 数** 22点
- 入 館 者** 692人 1日平均115人



展示風景



展示作品

3. 海外展協力

タイ国で開催された展覧会への協力

1 展覧会名

日本語「日本とタイのやきもの交流－貿易と文化交流の永遠の伝説」

英語 The Endless Epic of Japanese-Thai Ceramic in the World's Trade and Culture

2 会場及び開期

会場：バンコク国立博物館（タイ王国、バンコク）

会期：2022年9月14日から2022年12月14日

3 主催 タイ王国文化省芸術局

4 共催 佐賀県

展覧会会場



5 展覧会趣旨

タイ国芸術局が2022年にシリキット王太后（国王の母）の90歳の生誕（8.12）記念として開催。この展覧会を通じて、展示を担当する日本とタイの学芸員の国内外での新しい研究を促進する。

また、本展覧会は、佐賀県とタイ芸術局との間の文化協定による両者の協働により実施するもので、展覧会と図録の出版を通じ両者の協定を効果的かつ強力に広く知らしめることを目的とする。

6 展示構成

(1) 王太后陛下90歳の生誕への祝辞と王太妃の陶磁器産業への貢献と業績

(2) プロローグ（展覧会の目的、背景、概要、及び年表）

(3-1) 土・水・空気・火を使った日本の知恵－日本陶磁と有田磁器・佐賀県の陶器の世界

(3-2) 日本とタイの陶磁器生産と世界貿易と文化交流の歴史

(4) 叡智を映し出す両国間の交易と文化交流

(5) 土・水・空気・火を使ったタイの知恵－タイ陶磁の世界

(6) 技術革新とたゆまぬ創造性

(7) タイ及び日本の伝統的な食卓

7 展示点数

日本国佐賀県立九州陶磁文化館所蔵品 82件 97点
（有田磁器及び佐賀県の陶器（古武雄）食膳具等）

タイ国 各博物館、個人所蔵品 162件 162点
（タイの陶磁器及び陶磁器関連資料）



展覧会会場

8 展覧会図録

英語版・タイ語版をタイ芸術局が刊行 オールカラーの図版編と論考編の2冊セット

図版編 352 ページ 論考編 336 ページ



展示風景

3. 利用状況

◎月毎の入館者数

月	開館日数	入館者数	月	開館日数	入館者数
4 月	20	2, 429	11 月	27	3, 765
5 月	27	3, 773	12 月	24	1, 897
6 月	26	3, 295	1 月	24	2, 911
7 月	27	3, 422	2 月	24	2, 532
8 月	26	2, 276	3 月	27	2, 975
9 月	25	1, 691	合計	303	34, 542
10 月	26	3, 576	平均	25. 3	2, 879

◎展覧会毎の入館者数

No.	展 覧 会 名	主催・共催・後援	会 期	日数	入館者数
1	第 118 回有田国際陶磁展	共催	4/29～5/8	10	2, 560
2	特別企画展「海を渡った古伊万里」	主催	5/28～7/18	45	4, 249
3	第 43 回九州新工芸展	後援	7/27～8/ 7	11	870
4	第 2 回伊万里・有田伝統工芸士会 佐賀県陶磁器技能士連合会合同作品展	後援	8/11～8/21	10	931
5	第 31 回陶千坊展	後援	8/23～8/28	6	521
6	特別企画展「未来へつなぐ陶芸」	主催	9/23～12/4	59	4, 266
7	「工芸考写」展	後援	12/20～12/25	6	354
8	第 54 回有田工業高等学校卒業制作展	後援	1/17～1/22	6	1, 717
9	第 4 回九陶陶芸教室 OB 有志展	後援	2/7～2/12	6	703
10	第 33 回九州陶磁器デザイナー協会展	後援	2/21～2/26	6	780
11	第 38 回陶交会展	後援	3/7～3/12	6	692

5. 館蔵資料等の貸出

貸出資料数一覧

許可番号	No.	事業・展覧会・目的	貸出期間	貸出先	貸出	
					件数	点数
570	1	御茶臼窯記念館にて十一代中里天祐の鉄釉母子置物を一般公開	R4. 4. 16～R5. 3. 31	株式会社中里太郎衛門陶房	1	1
571	2	常設展「日本と世界のやきもの」通史部門・日本ゾーン内「古窯陶磁資料展示コーナー」出品	R4. 4. 1～R5. 3. 31	愛知県陶磁美術館	29	183
572	3	佐賀県教育長室で展示	R4. 4. 1～R5. 3. 31	佐賀県教育庁教育総務課	1	1
573	4	常設展示「日本列島と朝鮮半島との交流史」で展示	R4. 4. 1～R4. 6. 30	佐賀県立名護屋城博物館	5	5
574	5	佐賀県首都圏事務所応接室で展示	R4. 4. 1～R5. 3. 31	佐賀県首都圏事務所	2	2
575	6	佐賀県議会議長室で展示	R4. 4. 1～R5. 3. 31	佐賀県議会事務局	1	1
576	7	佐賀県庁来賓室で展示	R4. 4. 1～R5. 3. 31	佐賀県秘書課	1	1
577	8	嬉野市史編纂における不動山窯跡遺物調査のため	R4. 4. 1～R4. 5. 31	嬉野市教育委員会	3	277
578	9	神戸市立博物館開館 40 周年記念特別展「よみがえる川崎美術館－川崎正蔵が守り伝えた美への招待－」で展示	R4. 4. 1～R4. 12. 31	神戸市立博物館	5	5
579	10	令和 4 年度春季特別展「日本遺産 古代日本の「西の都」－生かす地域の宝－」出品	R4. 4. 13～R4. 6. 30	大野城心のふるさと館	6	6
580	11	テーマ展「古唐津と茶陶」出品	R4. 6. 6～R4. 9. 30	佐賀県立名護屋城博物館	21	21
581	12	嬉野市史編纂における不動山窯跡遺物（皿屋谷 1 号、2 号、3 号）の調査	R4. 5. 31～R4. 7. 31	嬉野市教育委員会	3	277
582	13	常設展示「日本列島と朝鮮半島の交流史」で展示	R4. 7. 31～R5. 3. 31	佐賀県立名護屋城博物館	5	5
583	14	常設展示「日本列島と朝鮮半島の交流史」で展示	R5. 2. 1～R6. 3. 31	佐賀県立名護屋城博物館	5	5
584	15	特別展示「日本とタイの陶磁器交流」出品	R4. 8. 16～R4. 12. 28	タイ王国文化省芸術局	82	97
585	16	研究テーマに即した参考資料展示・閲覧・検討のため	R5. 2. 10～R5. 2. 12	近世陶磁研究会	15	75
590	17	佐賀市三重津海軍所跡等から出土した VOC 文字入磁器皿の産地同定の比較資料として生産地資料のシンクローン光による非破壊の胎土分析を実施するため	R5. 3. 22～R5. 4. 28	佐賀大学特任教授 田端正明	2	2
令和 4 年度 貸出資料数：187 件 964 点						

6. 館蔵資料等の閲覧・撮影・画像原稿借用・画像使用等

令和 4 年（2022 年）4 月 1 日～令和 5 年（2023 年）3 月 31 日 91 件（662 点）

*この他、施設としての撮影 13 件

教 育 普 及 活 動

1. 展示案内

団体案内は予約制だが、要望に応じて随時対応している

令和4年度 展示案内 実施回数

	実施回数						人数					
	学芸	総務	会計年度任用職員	予約	その他	計	学芸	総務	会計年度任用職員	予約	その他	計
4月	8	0	4	2	2	12	59	0	24	19	5	83
5月	5	0	8	8	0	13	119	0	137	137	0	256
6月	6	0	11	10	1	17	54	0	185	184	1	239
7月	7	0	6	5	1	13	38	0	107	104	3	145
8月	5	0	4	4	0	9	25	0	50	50	0	75
9月	1	0	3	3	0	4	61	0	178	178	0	239
10月	11	0	16	16	0	27	135	0	1,042	1,042	0	1,177
11月	8	0	12	10	2	20	159	0	404	383	21	563
12月	4	0	4	4	0	8	28	0	81	81	0	109
1月	1	0	4	3	1	5	6	0	102	92	10	108
2月	1	0	7	5	2	8	12	0	184	159	25	196
3月	3	0	7	6	1	10	43	0	94	82	12	137
計	60	0	86	76	10	146	739	0	2,588	2,511	77	3,327

令和4年度 団体観覧

	展示案内		自由観覧		学校行事観覧		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	1	23	1	36	0	0	2	59
5月	3	127	0	0	2	64	5	191
6月	2	46	1	24	5	159	8	229
7月	3	67	1	141	3	128	7	336
8月	0	0	1	45	0	0	1	45
9月	1	61	1	62	2	164	4	287
10月	3	83	2	135	15	1,139	20	1,357
11月	7	274	4	259	5	368	16	901
12月	0	0	3	102	1	51	4	153
1月	1	21	0	0	10	366	11	387
2月	1	36	1	22	2	85	4	143
3月	4	88	3	75	1	42	8	205
計	26	826	18	901	46	2,566	90	4,293

*団体とは20名以上の観覧者

*学校行事観覧(団体)は、案内の有無にかかわらず記載

2. イベント・行事など

◎笑顔 de さいこうマルシェ in 九州陶磁文化館

期 間 令和4年（2022年）4月29日（金・祝）～令和4年5月5日（木・祝）（7日間）

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランス

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 お菓子・雑貨・手芸品など個性あふれる6店舗が九州陶磁文化館に出店しました。



◎夏休み子供向けイベント

期 間 令和4年（2022年）7月21日（木）～ 8月31日（水）

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランス

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 夏のイベントとして、オリジナル風鈴、折り紙の体験、うちわプレゼント等を行いました。

また、エントランスホールに碗琴を設置し、澄んだ音色を楽しみました。

（1）オリジナル風鈴 （1個 700円）

有田焼の真っ白な風鈴に色とりどりのペンで絵付けをしてオリジナル風鈴を制作

（2）うちわプレゼント （無料）

白いうちわに絵を描いたり折り紙を貼ったりして飾り付け

（3）折り紙を折ろう！（無料）

夏の思い出や好きなものなど折り紙を使って自由に制作



◎椿の花の展示

- 期 間** 令和4年12月20日（火）～令和5年1月15日（日）
- 場 所** 九州陶磁文化館 エントランスホール
- 主 催** 九州陶磁文化館
- 内 容** 地域の方が育てた椿の花によって一足早く春を感じていただくと同時に、館内の椿をテーマとする皿を鑑賞していただきました。



◎ひなまつりイベント

（1）「ひなまつり」ぬりえ展示

- 期 間** 令和5年（2023年）1月31日（火）～3月5日（日）（34日間）
- 場 所** 佐賀県立九州陶磁文化館展示室前
- 主 催** 佐賀県立九州陶磁文化館
- 内 容** 「ひなまつり」に合わせ、地域の皆様に親しみをもってもらえるよう、有田町内の保育園、認定こども園に通う年長組の子どもたちのぬり絵を展示しました。



(2) 世界最大の磁器製座り白磁びな七段飾りの展示

期 間 令和5年(2020年)1月31日(火)～3月12日(日)(41日間)

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 エントランス

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 有田雛(ひいな)のやきものまつり(R5.2.4～3.12)の期間に合わせ、県窯業技術センターも関与して平成17～20年度にかけ制作された世界最大の磁器製座り白磁びな七段飾りを展示しました。

なお、まつり期間に有田町内で実施されるスタンプラリーにも参加しました。



3. 印刷物等の刊行

館報「セラミック九州」59号

編集：佐賀県立九州陶磁文化館

発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：令和5年（2023年）3月20日

規格：A4判、オールカラー、8ページ

内容：・令和5年度 企画展「なんて書いてあると？—お皿の裏話—」のお知らせ

- ・令和4年度 特別企画展「海を渡った古伊万里～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～」
- ・「未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ」の報告

- ・調査ノート「タイにおける肥前陶磁の特徴」大橋康二

- ・肥前陶磁の見どころシリーズ(4)「広東形碗の焼成方法—江戸時代後期における肥前磁器の地方窯との競争と発展—」山本文子



セラミック九州 59号

紀要「佐賀県立九州陶磁文化館 研究紀要」第8号

編集：佐賀県立九州陶磁文化館

発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：令和5年（2023年）3月24日

規格：A4判、83ページ

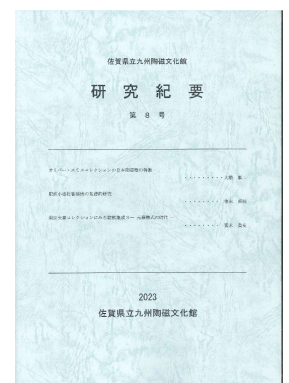
内容：・アンティークとしての肥前陶磁の姿を研究した論考や、松香溪焼の基礎的な研究 柴田夫妻コレクションにみられる銘の紹介といった調査研究の結果を収録

- ・「オリバー・スミスコレクションの日本陶磁器の特徴」大橋康二

- ・「肥前小城松香溪焼の基礎的研究」徳永貞紹

- ・「柴田夫妻コレクションにみる銘款集成3—元禄様式の時代—」宮木貴史

その他：電子版をWeb公開



佐賀県立九州陶磁文化館
研究紀要 第8号

「常設展示ガイドブック 有田焼の歴史 ～磁器が語る 奇跡のストーリー～」

編集：佐賀県立九州陶磁文化館

発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：令和5年（2023年）3月17日

規格：A5判、88ページ

内容：・令和4年（2023年）4月にリニューアルオープンした第1展示室「有田焼の歴史」の展示内容を解説したガイドブック

- ・「1 日本磁器の誕生」「2 技術の革新」「3 日本磁器の完成 柿右衛門と鍋島」「4 海を渡る」「5 暮らしを彩る」「6 新時代の幕開け」「7 今とこれから」「有田焼ができるまで」「有田焼Q&A」「やきもの産地マップ」



常設展示ガイドブック
有田焼の歴史

4. 博物館実習

趣 旨 博物館実習をする大学生を対象に、館の運営・資料の収集・展示・保管などについて指導する。

期 間・受 講 者

・令和4年（2022年）8月1日（月）～8月5日（金） 佐賀大学1名 長崎国際大学1名

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 館内での業務実習

- ・館の運営の概要と施設の見学
- ・陶磁概論
- ・陶磁資料の取り扱い方
- ・受付、案内業務実習
- ・図書整理
- ・収蔵資料整理
- ・展示解説の見学
- ・展示解説の方法、発表
- ・展覧会準備の実務

5. 講演など

No.	期日	演題	主催・場所	対象	講師
1	R4.9.8	出前講座「佐賀のやきもの－歴史と文化－」	主催：鳥栖市立田代中学校 場所：鳥栖市立田代中学校	田代中学校1年生	徳永貞紹
2	R4.9.14	The Endless Epic of Japanese-Thai Ceramic Relationship in the Worlds' s Trade and Culture(日本とタイの陶磁器交流－貿易と文化交流の永遠の伝説－)	主催：タイ芸術局 場所：バンコク国立博物館	タイ人研究者	鈴田由紀夫
3	R4.9.29	ゆめさが大学佐賀校基礎1組「佐賀の陶磁器文化」	主催：(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所：アバンセ（佐賀県立男女共同参画・生涯学習センター）	ゆめさが大学 佐賀校受講者	藤原友子
4	R4.10.5	ゆめさが大学唐津校基礎課程「佐賀のやきもの－歴史と文化－」	主催：(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所：唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」	ゆめさが大学 唐津校受講者	徳永貞紹
5	R4.10.27	ゆめさが大学鹿島校基礎課程「佐賀の陶磁器文化」	主催：(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所：鹿島市民交流プラザ「かたらい」多目的室	ゆめさが大学 鹿島校受講者	藤原友子
6	R4.11.8	ゆめさが大学鳥栖校基礎課程「佐賀のやきもの－歴史と文化－」	主催：(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所：鳥栖市社会福祉会館	ゆめさが大学 鳥栖校受講者	徳永貞紹
7	R4.11.8	総合学習～有田再発見～	主催：有田中学校 場所：佐賀県立九州陶磁文化館	有田中学校1年生	宮木貴史
8	R4.12.6	出前講座「佐賀のやきもの」	主催：佐賀県立武雄青陵中学校 場所：佐賀県立武雄青陵中学校	武雄青陵中学校1年生	宮木貴史
9	R4.12.9	Hizen Ceramics and Its Export to Worldwide Markets-Especially in Southeast Asia (世界に輸出された肥前陶磁－東南アジア輸出を中心に－)	主催：タイ芸術局 場所：バンコク国立博物館	タイ人研究者	大橋康二
10	R5.1.26	ゆめさが大学佐賀校基礎2組「佐賀の陶磁器文化」	主催：(公財)佐賀県長寿社会振興財団 場所：アバンセ（佐賀県立男女共同参画・生涯学習センター）	ゆめさが大学 佐賀校受講者	藤原友子

調査研究活動

1. 調査

No.	期日	目的	調査地	調査者
1	R4. 11. 25～11. 26	資料調査	東京都	大橋康二 徳永貞紹
2	R4. 12. 8～12. 11	在外肥前陶磁調査	タイ王国バンコク ラーチャブリー	大橋康二 徳永貞紹
3	R5. 2. 17～2. 18	資料調査	東京都	大橋康二 徳永貞紹
4	R5. 3. 1	資料調査	佐賀県	大橋康二 藤原友子

2. 調査協力・広報・研修など

No.	期日	内容	場所	主催・依頼等	担当者
1	R4. 5. 6	特別企画展「海を渡った古伊万里」テレビ収録	佐賀県庁	サガテレビ	山本文子
2	R4. 6. 9	令和4年度佐賀県文化財保護事務研修会・文化財担当者会議	佐賀県庁	佐賀県文化財保護室	宮木貴史
3	R4. 6. 20	特別企画展「海を渡った古伊万里」ラジオ収録	福岡市	福岡 LOVE FM	山本文子
4	R4. 6. 30	特別企画展「海を渡った古伊万里」テレビ・ラジオ収録	福岡市	NHK福岡放送局	山本文子
5	R4. 9. 15	特別企画展「肥前名護屋、煌めく」開会式	唐津市	佐賀県立名護屋城博物館	徳永貞紹
6	R4. 10. 24	令和4年度九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会	長崎県対馬市	九州博物館協議会	加藤英治 福田直美 宮木貴史
7	R4. 10. 25	特別企画展「未来へつなぐ陶芸」ラジオ収録	佐賀市	FM佐賀	藤原友子
8	R4. 10. 27	陶磁ネットワーク会議現地研修	嬉野市、長崎県 波佐見町	陶磁ネットワーク	鈴田由紀夫 加藤英治 徳永貞紹
9	R5. 1. 27	長崎県文化財保護審議会	長崎市	長崎県学芸文化課	藤原友子

3. 依頼資料調査

本館(来館)での依頼調査 28回(144件 144点)
 写真等での依頼調査 57回(428件 460点)
 計 85回(572件 604点)

資料収集活動

1. 陶磁資料の収集

令和4年度は寄贈資料 159 件 179 点を新たに収蔵した。

総計 15,459 件 29,133 点(令和5年3月31日現在)

2. 図書資料の収集

報告書	226
目録	9
紀要	140
海外	54
図録	188
年報	81
一般図書	48
その他	63
合計	809

佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 令和4年度（2022.4～2023.3）

凡 例

- この資料目録は、令和4年度の収蔵資料159件179点（寄贈）を掲載している。

寄贈 159件 179点

購入 0件 0点

管理換 0件 0点

令和4年度末の館蔵品総数は15,459件29,133点である。

- 平成30年度までは、「収蔵番号」については、収蔵登録番号と収蔵年度で〈00000—30〉と表示していたが、令和元年度（2019年）から収蔵登録番号と収蔵年（西暦）で〈00000—2019〉と表示している。
- 寸法の単位はセンチメートルである。
- 令和3年度から分類の大区分の一部を変更した。
 - 「近世の肥前陶磁」032.古伊万里・承応様式を031.古伊万里・正保様式に統合した。
 - 「現代の陶磁器」を旧「現代作家作品」から改め、240.佐賀県Ⅱ松本佩山は230.佐賀県に統合した。

近世の肥前陶磁	011. 唐津系陶器
	021. 初期伊万里様式
	030. 古伊万里様式
	031. 古伊万里・正保様式
	033. 古伊万里・寛文様式
	034. 古伊万里・延宝様式
	035. 古伊万里・元禄様式
	036. 古伊万里・宝暦様式
	037. 古伊万里・天明様式
	038. 古伊万里・文政様式
	041. 柿右衛門様式
	051. 鍋島藩窯様式
近世の九州陶磁 (県外)	060. 長崎の陶磁器
	070. 福岡の陶磁器
	080. 熊本の陶磁器
	090. 大分の陶磁器
	100. 宮崎の陶磁器
	110. 鹿児島島の陶磁器
	120. 沖縄の陶磁器
近代資料	130. 佐賀県 近代
	140. 九州(県外) 近代
九州以外 他	150. 九州以外 近世
	160. 九州以外 近代
	170. 陶磁器関連資料(文書・図案など)
世界の陶磁器	180. 中国の陶磁器
	190. 朝鮮の陶磁器
	200. アジアの陶磁器
	210. ヨーロッパの陶磁器
	220. その他の世界の陶磁器
現代の陶磁器	230. 佐賀県
	250. 長崎県
	260. 福岡県
	270. 熊本県
	280. 大分県
	290. 宮崎県
	300. 鹿児島県
	310. 沖縄県
	320. 九州以外
	330. 国外

収蔵番号		資料名	点数	生産地/製作者	年代	口径	高さ	底径		備考
[011. 唐津系陶器]										
15431	-2022	鉄絵草文四方皿	1	肥前	1590～1610 年代	17.3× 15.7	6.8	5.4	寄贈	山口陽二
15432	-2022	鉄絵草文四方皿	1	肥前	1590～1610 年代	17.0× 16.3	5.5	6.0	寄贈	山口陽二
15433	-2022	鉄絵草文四方皿	1	肥前	1590～1610 年代	19.7× 19.6	6.4	8.2	寄贈	山口陽二
15434	-2022	鉄絵風字文輪花小鉢	1	肥前	1590～1610 年代	12.8	5.7	5.0	寄贈	山口陽二
15435	-2022	鉄絵やきもの字文碗	1	肥前	1590～1610 年代	10.6～ 10.2	7.6	5.1	寄贈	山口陽二
15436	-2022	鉄絵葦鳥文插座四方猪口	1	肥前	1590～1610 年代	7.7×7.5	8.6	4.6	寄贈	山口陽二
15437	-2022	鉄絵草文波縁小坏	1	肥前	1590～1610 年代	10.1～ 9.0	4.1	4.2	寄贈	山口陽二
15438	-2022	鉄絵壺	1	肥前	1590～1610 年代	13.0 (胴径 16.2)	11.2	8.5	寄贈	山口陽二
15439	-2022	鉄絵草文壺	1	肥前	1590～1610 年代	10.1 (胴径 16.6)	11.2	7.5	寄贈	山口陽二
15440	-2022	鉄絵区画文壺	1	肥前	1590～1610 年代	9.5 (胴径 15.1)	10.8	6.5	寄贈	山口陽二
15441	-2022	鉄絵蔓草文壺	1	肥前	1590～1610 年代	12.5～ 12.0 (胴径 16.9)	10.1	8.5	寄贈	山口陽二
15442	-2022	鉄絵草文小壺	1	肥前	1590～1610 年代	9.1 (胴径 12.7)	9.4	6.2	寄贈	山口陽二
15443	-2022	灰釉茶碗	1	肥前	1600～1630 年代	11.9	8.1	5.4	寄贈	山口陽二
15444	-2022	灰釉叩き四耳壺	1	肥前	17 世紀	13.1 (胴径 32.6)	31.7	17.0	寄贈	山口陽二
15445	-2022	緑釉四耳壺	1	肥前	1630～1650 年代	10.3 (胴径 20.6)	23.4	11.3	寄贈	山口陽二
[021. 初期伊万里様式]										
15446	-2022	染付蓮文皿	1	肥前 有田	1610～1630 年代	17.0	3.8	6.4	寄贈	山口陽二
15447	-2022	染付吹墨兔文皿	1	肥前 有田	1630～1640 年代	19.0	3.6	6.4	寄贈	山口陽二
15448	-2022	染付柘榴文皿	1	肥前 有田	1630～1640 年代	20.2	3.4	8.2	寄贈	山口陽二
15449	-2022	染付銀杏葡萄文菱形小皿	1	肥前 有田	1630～1640 年代	16.0× 14.5	2.9	5.4	寄贈	山口陽二
15450	-2022	染付雲気文輪花小皿	1	肥前 有田	1630～1640 年代	14.5	3.3	5.5	寄贈	山口陽二
15451	-2022	染付花卉文瓶	1	肥前 有田	1630～1640 年代	4.5 (胴径 11.7)	20.8	6.4	寄贈	山口陽二
15452	-2022	染付草花文瓶	1	肥前 有田	1630～1640 年代	5.5 (胴径 11.3)	21.3	6.2	寄贈	山口陽二
[031. 古伊万里・正保様式]										
15453	-2022	染付丸文四方小皿	5	肥前 有田	1640 年代	13.0× 12.3	3.3	7.5	寄贈	山口陽二
[033. 古伊万里・寛文様式]										
15454	-2022	染付岩松文小皿	10	肥前 有田	1660～1670 年代	14.7	2.0	10.3	寄贈	山口陽二
[035. 古伊万里・元禄様式]										
15304	-2022	色絵牡丹唐草文蓋物	1	肥前 有田	1700～1740 年代	身 15.2 蓋 13.7	身 6.7 蓋 4.4	身 6.7 蓋 5.1	寄贈	山口智也
15330	-2022	青磁白土蝶文変形皿	1	肥前 有田	1690～1730 年代	17.0× 12.0	3.9	10.7× 7.2	寄贈	百溪正明
[037. 古伊万里・天明様式]										
15335	-2022	染付蝶牡丹文大皿	1	肥前 有田	1790～1840 年代	63.5	10.6	35.7	寄贈	瀬川竹生コレクション
15399	-2022	染付異国風俗文大皿	1	肥前 有田	1790～1840 年代	38.7	7.8	23.3	寄贈	瀬川竹生コレクション
[038. 古伊万里・文政様式]										

収蔵番号	資料名	点数	生産地/製作者	年代	口径	高さ	底径	備考
15305	-2022 染付楼閣亀文船形皿	1	肥前 有田	1800～1860 年代	10.8× 22.7	4.0	5.5× 12.7	寄贈 山口智也
15306	-2022 色絵牡丹鳥文葉形皿	1	肥前 有田	1840～1860 年代	17.2× 23.0	3.7	12.3× 16.0	寄贈 山口智也
15307	-2022 色絵紅葉鳥文皿	1	肥前 有田	1840～1860 年代	23.4	3.4	12.3	寄贈 山口智也
15308	-2022 色絵紅葉鳥文皿	1	肥前 有田	1840～1860 年代	24.5	3.5	外 13.2 (内 7.5)	寄贈 山口智也
15309	-2022 色絵牡丹鳥文皿	2	肥前 有田	1840～1860 年代	19.9	2.6	外 11.5 (内 5.0)	寄贈 山口智也
15310	-2022 色絵牡丹鳥文皿	1	肥前 有田	1840～1860 年代	25.3	3.6	14.5	寄贈 山口智也
15311	-2022 色絵楼閣山水文碗皿	2	肥前 有田 (素地は三川 内か)	1840～1860 年代	皿 12.5 碗 9.5 碗蓋 8.8	総 8.0 皿 2.2 碗 5.3 碗蓋 3.1	皿 6.7 碗 3.2 碗蓋 2.9	寄贈 山口智也
15312	-2022 染付童子雪玉文碗皿	1	肥前 有田 (素地は三川 内か)	1840～1860 年代	皿 12.1 碗 9.1 碗蓋 8.3	皿 2.3 碗 5.3 碗蓋 2.8	皿 6.1 碗 3.1 碗蓋 2.8	寄贈 山口智也
15313	-2022 染付人物花文八角碗皿	1	肥前 有田	1840～1860 年代	皿 12.1 碗 8.4	皿 1.9 碗 6.4	皿 5.9 碗 3.8	寄贈 山口智也
15314	-2022 色絵芙蓉手花文小皿	1	肥前 有田	1840～1860 年代	12.3	2.2	6.6	寄贈 山口智也
15315	-2022 色絵武者人物文把手付碗皿	1	肥前 有田	1840～1860 年代	皿 14.3 碗 9.9	皿 2.9 碗 5.4	皿 8.0 碗 4.7	寄贈 山口智也
15331	-2022 染付猿亀龍宮文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	65.5	10.5	32.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15332	-2022 染付巻物松竹梅文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	66.5	12.6	36.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15334	-2022 青磁染付登龍門文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	63.0	9.9	36.6	寄贈 瀬川竹生コレクション
15336	-2022 染付白象文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	58.0	8.8	34.7	寄贈 瀬川竹生コレクション
15337	-2022 染付桐鳳凰文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	58.2	9.4	30.8	寄贈 瀬川竹生コレクション
15338	-2022 染付旭日松鶴文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	64.0	10.4	35.2	寄贈 瀬川竹生コレクション
15339	-2022 染付鶴丸文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	57.4	9.6	32.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15340	-2022 染付東海道五十三次丸文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	62.5	9.6	34.6	寄贈 瀬川竹生コレクション
15341	-2022 染付丸文散大皿	1	肥前 有田	19 世紀	61.0	10.4	29.8	寄贈 瀬川竹生コレクション
15342	-2022 染付網地秋海棠文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.5	8.9	25.3	寄贈 瀬川竹生コレクション
15343	-2022 染付網地花丸散文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	51.1	6.7	30.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15344	-2022 染付亀甲地花瓶山水文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.8	6.9	23.9	寄贈 瀬川竹生コレクション
15345	-2022 染付網地竹虎文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	44.5	7.8	25.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15346	-2022 染付網地双鯉文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.2	7.7	26.2	寄贈 瀬川竹生コレクション
15347	-2022 染付亀甲地朝顔文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.5	8.1	25.4	寄贈 瀬川竹生コレクション
15348	-2022 染付淀川風景文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	50.8	4.9	34.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15349	-2022 染付氷裂地丸文散貝形大皿	1	肥前 有田	19 世紀	44.0	8.1	23.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15350	-2022 染付宝珠形大皿	1	肥前 有田	19 世紀	39.5× 36.9	6.0	20.8	寄贈 瀬川竹生コレクション
15351	-2022 染付鶴河骨文輪花大皿	1	肥前 有田 酒井田柿右 衛門	19 世紀	41.0	6.7	22.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15352	-2022 染付瓢箪駒文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	44.0	6.7	25.7	寄贈 瀬川竹生コレクション
15353	-2022 染付瓢箪駒文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	44.0	6.1	25.1	寄贈 瀬川竹生コレクション
15354	-2022 染付唐草地丸文散輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	50.0	8.1	26.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15355	-2022 染付松竹梅唐草文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	55.5	9.5	29.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15356	-2022 染付唐花飛禽文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	55.0	9.1	29.5	寄贈 瀬川竹生コレクション

収蔵番号		資料名	点数	生産地/製作者	年代	口径	高さ	底径	備考	
15357	-2022	染付蓮弁繫文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.4	9.8	23.1	寄贈	瀬川竹生コレクション
15358	-2022	染付鹿紅葉文蓮弁繫大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.7	6.9	25.2	寄贈	瀬川竹生コレクション
15359	-2022	染付龍捻花文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	45.9	9.1	23.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15360	-2022	染付松樹捻花文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	40.2	6.8	22.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15361	-2022	染付蝶に丸散捻花文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.4	7.5	21.8	寄贈	瀬川竹生コレクション
15362	-2022	染付市松文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	49.7	6.7	30.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15363	-2022	染付市松文輪花大皿	1	肥前 有田	1790～1840 年代	47.9	7.6	27.3	寄贈	瀬川竹生コレクション
15364	-2022	染付菱繫文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	43.3	5.9	26.2	寄贈	瀬川竹生コレクション
15365	-2022	染付丸文散輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.7	7.5	25.8	寄贈	瀬川竹生コレクション
15366	-2022	染付丸文散大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.2	10.0	24.4	寄贈	瀬川竹生コレクション
15367	-2022	染付牡丹雷文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.1	7.0	23.4	寄贈	瀬川竹生コレクション
15368	-2022	染付亀甲繫登龍門文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	49.5	7.1	28.4	寄贈	瀬川竹生コレクション
15369	-2022	染付蝶牡丹格子目文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	53.0	7.6	30.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15370	-2022	染付牡丹格子目文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.7	7.3	28.6	寄贈	瀬川竹生コレクション
15371	-2022	染付鷹文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	43.7	8.6	25.4	寄贈	瀬川竹生コレクション
15372	-2022	染付浦島太郎文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	40.6	7.2	21.1	寄贈	瀬川竹生コレクション
15373	-2022	染付山姥金太郎文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	45.0	9.1	25.2	寄贈	瀬川竹生コレクション
15374	-2022	染付六玉川文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	53.0	8.0	29.5	寄贈	瀬川竹生コレクション
15375	-2022	染付浄瑠璃本散文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.6	8.1	26.5	寄贈	瀬川竹生コレクション
15376	-2022	染付什物散文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	40.7	7.5	21.3	寄贈	瀬川竹生コレクション
15377	-2022	染付屋気楼文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	38.5	7.0	20.3	寄贈	瀬川竹生コレクション
15378	-2022	染付桜樹法螺貝文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.5	6.5	25.8	寄贈	瀬川竹生コレクション
15379	-2022	染付十二支文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.4	6.4	28.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15380	-2022	染付十二支散文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.0	6.6	29.4	寄贈	瀬川竹生コレクション
15381	-2022	染付六芒星十二支文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	42.5	7.9	23.1	寄贈	瀬川竹生コレクション
15382	-2022	染付十二支文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	56.0	8.5	31.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15383	-2022	染付福壽文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	53.0	8.6	28.5	寄贈	瀬川竹生コレクション
15384	-2022	染付吉祥文散輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.0	7.9	26.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15385	-2022	染付松竹梅文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.7	6.9	28.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
15386	-2022	染付梅花氷裂文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.0	8.9	22.5	寄贈	瀬川竹生コレクション
15387	-2022	染付酒樽散文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	44.0	6.7	25.5	寄贈	瀬川竹生コレクション
15388	-2022	染付七福神文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	40.2	6.8	21.3	寄贈	瀬川竹生コレクション
15389	-2022	染付恵比寿大黒文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	39.7	6.2	22.7	寄贈	瀬川竹生コレクション
15390	-2022	染付富士昇龍文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.6	8.9	28.7	寄贈	瀬川竹生コレクション
15391	-2022	染付双鶴富士文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.5	7.5	27.1	寄贈	瀬川竹生コレクション
15392	-2022	染付観桜図富士形大皿	1	肥前 有田	19 世紀	39.7× 42.0	8.1	18.6	寄贈	瀬川竹生コレクション

収蔵番号	資料名	点数	生産地/製作者	年代	口径	高さ	底径	備考
15393	-2022 染付近江八景文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	43.7	5.7	25.9	寄贈 瀬川竹生コレクション
15394	-2022 染付唐船文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	51.0	7.1	30.3	寄贈 瀬川竹生コレクション
15395	-2022 染付騎牛童子文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	53.5	8.5	29.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15396	-2022 染付赤壁賦文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.9	7.5	26.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15397	-2022 染付赤壁賦文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	45.4	6.8	26.6	寄贈 瀬川竹生コレクション
15398	-2022 染付南蛮人物文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	42.0	7.2	21.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15400	-2022 染付諫鼓鶏文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	49.0	6.5	27.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15401	-2022 染付象唐子風景文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.2	5.8	27.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15402	-2022 染付唐獅子牡丹文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	51.6	11.4	25.8	寄贈 瀬川竹生コレクション
15403	-2022 染付唐獅子牡丹文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.6	8.1	25.8	寄贈 瀬川竹生コレクション
15404	-2022 染付親子獅子文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	54.0	7.6	29.7	寄贈 瀬川竹生コレクション
15405	-2022 染付唐獅子牡丹文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	55.1	8.9	30.4	寄贈 瀬川竹生コレクション
15406	-2022 染付竹虎文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.7	7.3	23.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15407	-2022 染付竹虎文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	55.5	8.6	31.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15408	-2022 染付雲龍七宝散文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	49.2	6.2	28.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15409	-2022 染付龍虎文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.5	7.1	25.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15410	-2022 染付登龍門文輪花大皿	1	肥前 有田 梶原判平	19 世紀半ごろから後半	63.5	9.5	32.7	寄贈 瀬川竹生コレクション
15411	-2022 染付登龍門文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	50.5	8.3	26.8	寄贈 瀬川竹生コレクション
15412	-2022 染付群鹿文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	56.0	9.6	29.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15413	-2022 染付牛文散大皿	1	肥前 有田	19 世紀	52.0	8.8	29.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15414	-2022 染付柿鼠文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	52.0	7.5	28.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15415	-2022 染付海馬文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	48.0	8.1	28.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15416	-2022 染付群馬文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	44.5	7.4	21.4	寄贈 瀬川竹生コレクション
15417	-2022 色絵水葵双兔文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.3	6.4	27.4	寄贈 瀬川竹生コレクション
15418	-2022 染付白狐雪景文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	41.0	7.5	22.2	寄贈 瀬川竹生コレクション
15419	-2022 染付群鶴文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.6	10.0	25.1	寄贈 瀬川竹生コレクション
15420	-2022 染付群鶴松文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	58.8	8.4	33.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15421	-2022 染付群鶴文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	41.0	6.1	23.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15422	-2022 染付松鷹太湖石文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	46.1	6.0	26.6	寄贈 瀬川竹生コレクション
15423	-2022 染付松鷹文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	45.7	6.3	23.5	寄贈 瀬川竹生コレクション
15424	-2022 染付群蝶文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	36.0	6.0	19.8	寄贈 瀬川竹生コレクション
15425	-2022 染付牡丹文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.5	8.1	24.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15426	-2022 染付蝶牡丹文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	41.7	6.0	22.4	寄贈 瀬川竹生コレクション
15427	-2022 染付芙蓉文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	47.7	8.8	26.0	寄贈 瀬川竹生コレクション
15428	-2022 染付蔬菜禽虫文輪花大皿	1	肥前 有田	19 世紀	43.6	6.5	25.2	寄贈 瀬川竹生コレクション
15429	-2022 染付草花文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	53.0	8.5	29.3	寄贈 瀬川竹生コレクション

収蔵番号		資料名	点数	生産地/製作者	年代	口径	高さ	底径		備考
15430	-2022	染付栗葉文大皿	1	肥前 有田	19 世紀	40.4	8.6	18.8	寄贈	瀬川竹生コレクション
[060. 長崎の陶磁器]										
15455	-2022	刷毛目鉄絵緑彩椿文変形小皿	1	肥前 現川	1690～1710 年代	12.9× 12.8	3.8	5.6	寄贈	山口陽二
[070. 福岡の陶磁器]										
15456	-2022	灰釉茶碗	1	豊前 上野 か	16 世紀末～17 世紀初	14.4	9.0	6.0	寄贈	山口陽二
15457	-2022	土灰釉釜形水指	1	豊前 上野	1600～1620 年代	内 10.0 外 12.5 蓋 11.6	総 18.4 身 18.0 蓋 1.9	15.0	寄贈	山口陽二
15458	-2022	鉄釉三足水指	1	福岡	17 世紀前半か	内径 9.3 (胴径 16.2)	16.6	12.2	寄贈	山口陽二
[130. 佐賀県 近代]										
15316	-2022	色絵武者人物文合子	1	肥前 有田	1850～1870 年代	10.0 (身 8.2)	2.9	9.5	寄贈	山口智也
15317	-2022	色絵牡丹鳥文扇形皿	1	肥前 有田	1850～1880 年代	34.0× 26.0	4.9	15.0	寄贈	山口智也
15318	-2022	色絵牡丹鳥文皿	1	肥前 有田	1850～1880 年代	24.4	3.9	13.1	寄贈	山口智也
15319	-2022	色絵牡丹蝙蝠鳥文皿	1	肥前 有田	1850～1880 年代	25.2	3.4	14.5	寄贈	山口智也
15320	-2022	色絵公家人物文皿	1	肥前 有田	1850～1880 年代	19.6	2.7	10.8	寄贈	山口智也
15321	-2022	色絵武者人物文碗皿	1	肥前 有田 (素地は三川 内か)	1850～1880 年代	皿 12.7 碗 9.8	皿 2.2 碗 5.5	皿 6.5 碗 3.5	寄贈	山口智也
15322	-2022	色絵遊楽文碗皿	1	肥前 有田 (素地は三川 内か)	1850～1880 年代	皿 10.6 碗 5.1	皿 2.5 碗 5.8	皿 6.2 碗 3.3	寄贈	山口智也
15323	-2022	色絵花文皿	1	肥前 有田	1868 年～1875 年頃	13.8	2.4	7.3	寄贈	山口智也
15324	-2022	色絵公家人物文三組皿	3	肥前 有田	1868 年～1875 年頃	大 12.5 中 11.8 小 10.7	大 3.4 中 3.4 小 3.0	大 5.5 中 5.3 小 5.0	寄贈	山口智也
15325	-2022	色絵武者人物文把手付碗	1	肥前 有田	1868 年～1875 年頃	8.7	7.4	3.8	寄贈	山口智也
15326	-2022	色絵公家人物文栓付瓶	1	肥前 有田	1868 年～1875 年頃	4.4(内 3.0) 栓径 5.0	28.1 栓 6.6	10.0 栓 2.2	寄贈	山口智也
15327	-2022	色絵公家人物文皿	1	肥前 有田	1868 年～1880 年代	24.2	3.7	13.4	寄贈	山口智也
15328	-2022	色絵婦人文小碗	4	肥前 有田	1868 年～1880 年代	4.9	5.0	2.5	寄贈	山口智也
15329	-2022	色絵公家人物文船形皿	1	肥前 有田	1870～1880 年代	19.8× 29.0	7.2	16.3× 21.0	寄贈	山口智也
15333	-2022	染付花籠文大皿	1	肥前 有田 瀬戸 富右衛 門	19 世紀後半	64.2	9.3	33.0	寄贈	瀬川竹生コレクション
[190. 朝鮮の陶磁器]										
15459	-2022	釘伊羅保茶碗	1	朝鮮	16 世紀	15.6	8.1	6.4	寄贈	山口陽二
15460	-2022	染付樹鳥文字文六角瓶	1	朝鮮	18 世紀	4.4×4.0 (胴径 12.8× 11.5)	18.4	8.2× 9.0	寄贈	山口陽二
[230. 佐賀県]										
15302	-2022	赤絵花瓶唐草割牡丹獅子菊鳳 絵	1	川原留雄 (1929～)	平成 29 年 (2017 年)	6.3 (胴径 26.2)	33.6	16.8	寄贈	川原留雄
[320. 九州以外]										
15303	-2022	白釉稜線浅鉢	1	岡田優 (1963～)	令和 4 年 (2022 年)	52.0	12.0		寄贈	岡田優

		購入件数	購入点数	寄贈件数	寄贈点数	管理換件数	管理換点数	総件数	総点数
昭和	53	0	0	0	0	12	16	12	16
昭和	54	0	0	0	0	37	66	37	66
昭和	55	47	57	4	5	0	0	51	62
昭和	56	38	55	12	19	0	0	50	74
昭和	57	37	45	129	492	0	0	166	537
昭和	58	66	112	43	79	4	4	113	195
昭和	59	109	168	18	19	1	1	128	188
昭和	60	57	79	20	21	3	3	80	103
昭和	61	30	57	13	20	0	0	43	77
昭和	62	30	47	18	25	0	0	48	72
昭和	63	40	58	58	84	0	0	98	142
平成	1	37	60	21	30	1	1	59	91
平成	2	33	46	1,090	2,491	1	1	1,124	2,538
平成	3	47	134	241	359	1	1	289	494
平成	4	8	16	336	646	1	1	345	663
平成	5	14	18	27	40	0	0	41	58
平成	6	10	10	572	1,514	1	1	583	1,525
平成	7	19	19	211	598	1	1	231	618
平成	8	5	5	759	1,788	1	1	765	1,794
平成	9	8	18	300	526	1	1	309	545
平成	10	35	35	272	563	12	12	319	610
平成	11	25	46	284	797	84	85	393	928
平成	12	1	1	172	386	0	0	173	387
平成	13	9	9	194	480	0	0	203	489
平成	14	4	5	632	1,304	0	0	636	1,309
平成	15	6	6	329	813	0	0	335	819
平成	16	14	14	59	65	0	0	73	79
平成	17	5	9	69	75	0	0	74	84
平成	18	9	9	574	1,775	0	0	583	1,784
平成	19	6	6	47	64	0	0	53	70
平成	20	0	0	415	695	0	0	415	695
平成	21	0	0	512	1,030	0	0	512	1,030
平成	22	0	0	222	281	0	0	222	281
平成	23	0	0	3,652	4,818	0	0	3,652	4,818
平成	24	0	0	200	250	0	0	200	250
平成	25	3	3	30	59	1	1	34	63
平成	26	0	0	223	249	0	0	223	249
平成	27	1	1	678	1,089	0	0	679	1,090
平成	28	2	2	21	43	0	0	23	45
平成	29	3	3	618	637	1	18	622	658
平成	30	1	1	165	177	0	0	166	178
令和	1(2019)	3	231	1,122	2,934	0	0	1,125	3,165
令和	2(2020)	3	5	3	3	2	2	8	10
令和	3(2021)	0	0	5	5	0	0	5	5
令和	4(2022)	0	0	159	179	0	0	159	179
合計		765	1,390	14,529	27,527	165	216	15,459	29,133

佐賀県立九州陶磁文化館年報・資料目録

No. 42 令和4年度

発行日 令和5年(2023年)8月3日

編集・発行 佐賀県立九州陶磁文化館

〒844-8585

佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1

TEL 0955-43-3681

FAX 0955-43-3324

<https://saga-museum.jp/ceramic/>

E-mail: kyuto@pref.saga.lg.jp



